

令和 7 年度第 2 回小金井市廃棄物減量等推進審議会 次第

令和 7 年 6 月 2 6 日（木）

午後 2 時から午後 4 時まで

小金井市野川クリーンセンター 研修室

1 開 会

2 報 告

I n s t a g r a m アカウソトの開設について（別紙 2）

3 議 題

(1) 小金井市一般廃棄物処理基本計画等について

資料 1 小金井市一般廃棄物処理基本計画（骨子案）

参考資料 1－1 市民アンケート経年比較結果

参考資料 1－2 事業所アンケート経年比較結果

資料 2 小金井市食品ロス削減推進基本計画（案）

資料 3－1 ワークショップについて

資料 3－2 ワークショップの内容について

(2) その他

令和7年6月26日

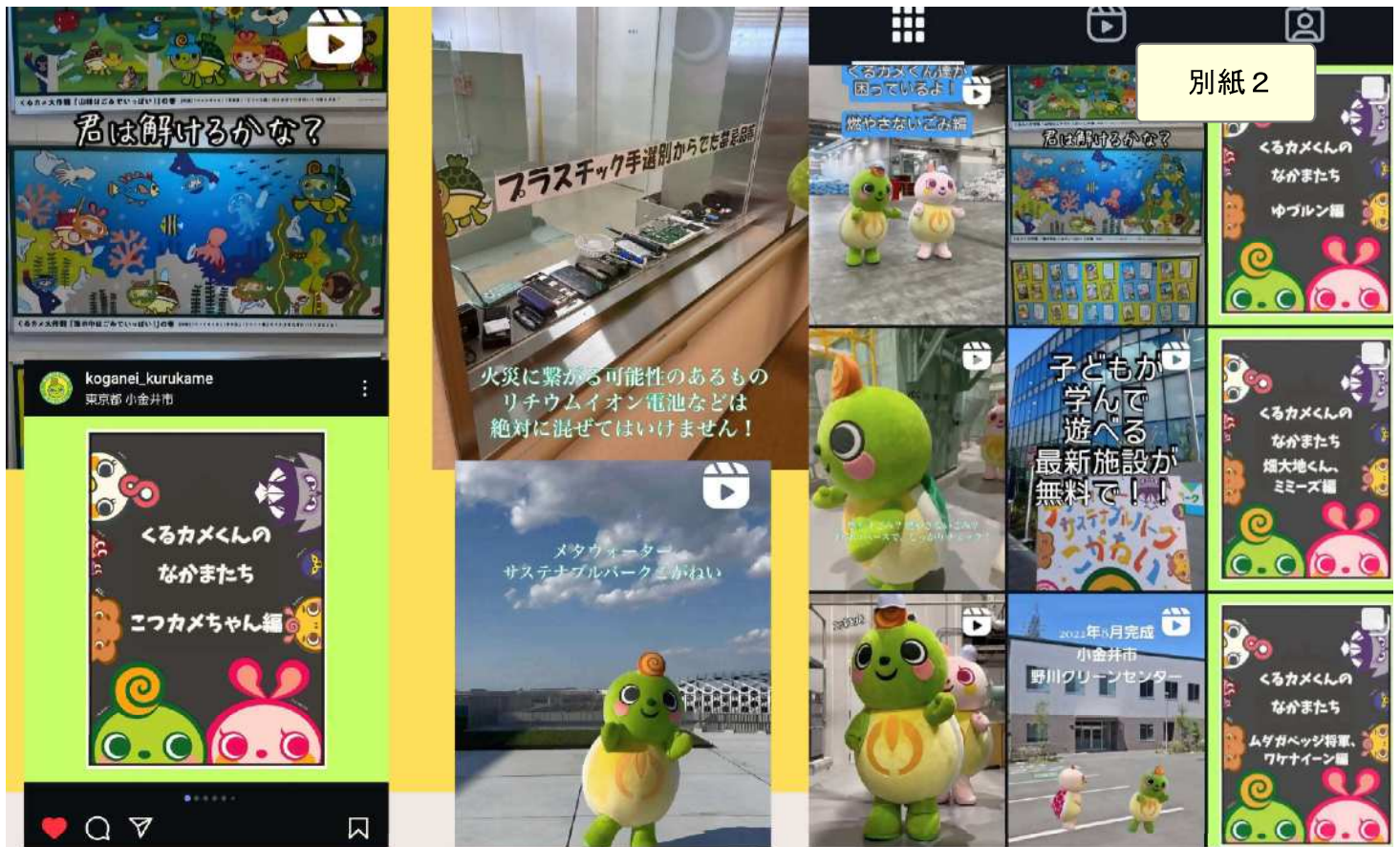
小金井市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

	選出委員	選出区分
1	渡辺 浩平	学識経験者
2	岡山 朋子	
3	溝入 茂	
4	岸野 勝利	一般市民
5	光明 圭介	
6	中村 光志	
7	橋爪 文彦	
8	林 和夫	
9	平川 裕美子	集団回収実践団体 代表
10	多田 典子	
11	清家 洋子	消費者団体代表
12	保谷 匠	事業者代表
13	長友 優佳	
14	石原 秀一	ごみゼロ化推進員 代表
15	井上 真紀子	

任期：令和6年7月1日～令和8年6月30日

※中村委員においては令和6年10月1日～令和8年6月30日

※平川委員においては令和7年4月1日～令和8年6月30日



くるカメくん公式

Instagramはじめました

ぼくとおともだちになってね!



@KOGANEI_KURUKAME

小金井市ごみ対策課
s040299@koganei-shi.jp

活動
報告

2025/04/26



くるカメくん達が
困っているよ!

燃やさないごみ編



小金井市一般廃棄物処理基本計画

骨子案

(抜粋)

令和7年3月

小金井市

第4節 本市の抱える主な課題

1. ごみ量実績・処理経費からの課題

(1) 家庭系一般廃棄物の削減

家庭系一般廃棄物については、令和元年（2019年）度から令和2年（2020年）度にかけて新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発令や在宅ワーク、外出自粛等により増加しましたが、直近では令和元年（2019年）度の水準に戻つつあります。家庭系一般廃棄物の排出量、1人1日当たりの排出量は共に減少傾向ではありますが、新たに、食品ロスの削減の推進に関する法律やプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行されたことも鑑み、更なるごみ減量に取り組む必要があります。

(2) 事業系一般廃棄物の削減

事業系一般廃棄物については、排出量が増加してきています。事業所におけるごみの発生抑制と資源化の推進により、燃やすごみとして処理される量の削減を図る必要があります。

(3) 処理経費を考慮した取組の推進

本市の年間ごみ処理経費（1人当たり及び1 t 当たり）は、多摩地域の平均値を上回っていることから、費用対効果も踏まえた上で取組を実施していく必要があります。

2. アンケート調査結果からの課題

(1) ごみについての関心度・分別の徹底状況

ごみについての関心は、どの年代においても高い傾向にあり、特に「ごみの分別の種類や出し方」、「ごみの3R（リデュース、リユース、リサイクル）」についての関心が高い傾向にあります。

また、徹底している人または徹底を心掛けている人の割合の合計が9割程度であることから、ごみの分別に対する意識は高いと捉えられる一方、徹底を心掛けているが分からないものは混ぜて出している人の割合が4割程度であるため、分別の種類についての周知が十分でない可能性があります。

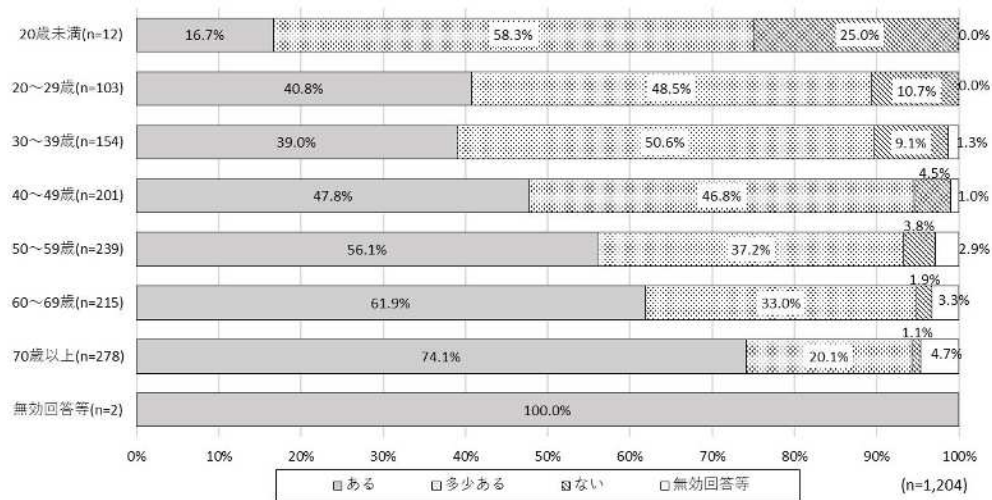


図 27 ごみに関する関心の有無【市民】

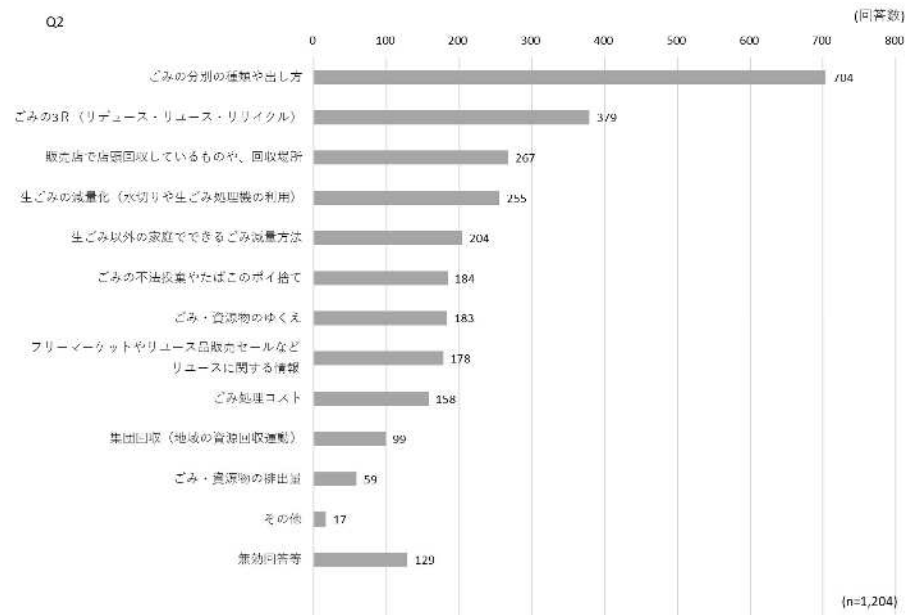


図 28 ごみに関する興味内容調査結果【市民】

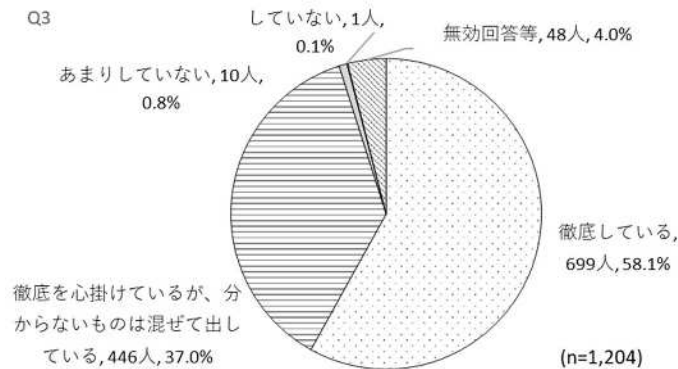


図 29 分別実施状況【市民】

(2)情報源・市民が求める施策

大半の市民及び事業所がごみ・リサイクルカレンダー、ごみ分別の手引きからごみに関する情報を得ている状況です。市報やごみ分別アプリ、ホームページを活用している市民も一定数いる状況であり、居住年数別にみると、ごみ分別アプリは居住年数が比較的少ない市民の利用率が高い傾向にあります。DX化、ペーパーレス化等の観点からは、ごみ分別アプリやホームページの情報を拡大することが必要ですが、利用状況を鑑みると引き続きごみ・リサイクルカレンダーでの分別周知徹底が必要です。

なお、市民からは、ごみ分別のための啓発、ごみ減量のための啓発、それらに関する情報発信の充実、集団回収への積極的な参加の促進を求める声も多いため、市のごみに関する情報（周知・広報したい情報）をごみ・リサイクルカレンダーに集約することで、情報を広く浸透させることができる可能性があります。

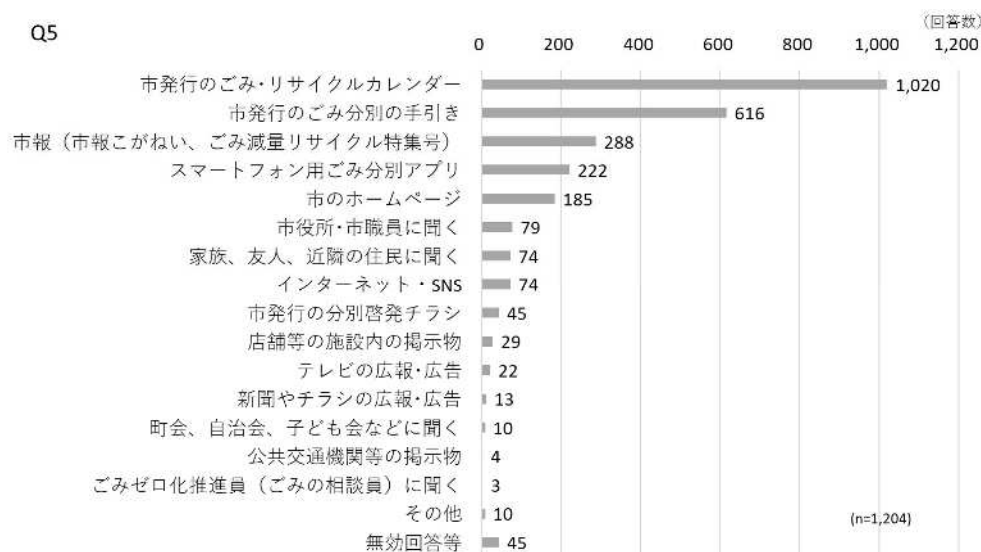


図 30 ごみに関する情報源【市民】

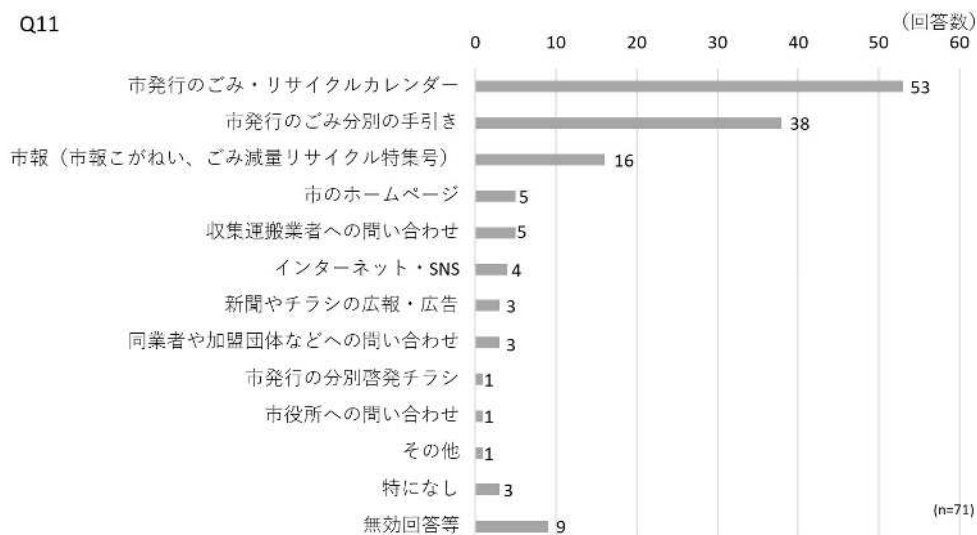


図 31 ごみに関する情報源【事業所】

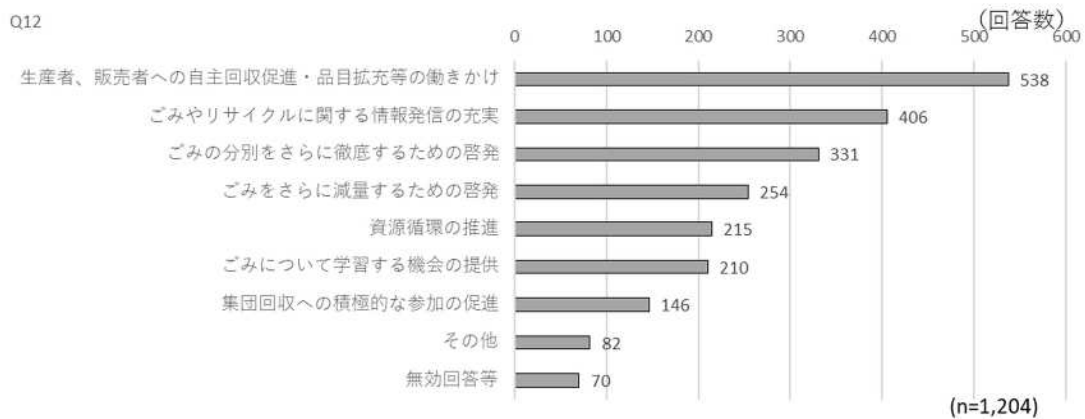


図 32 市民が求めている施策【市民】

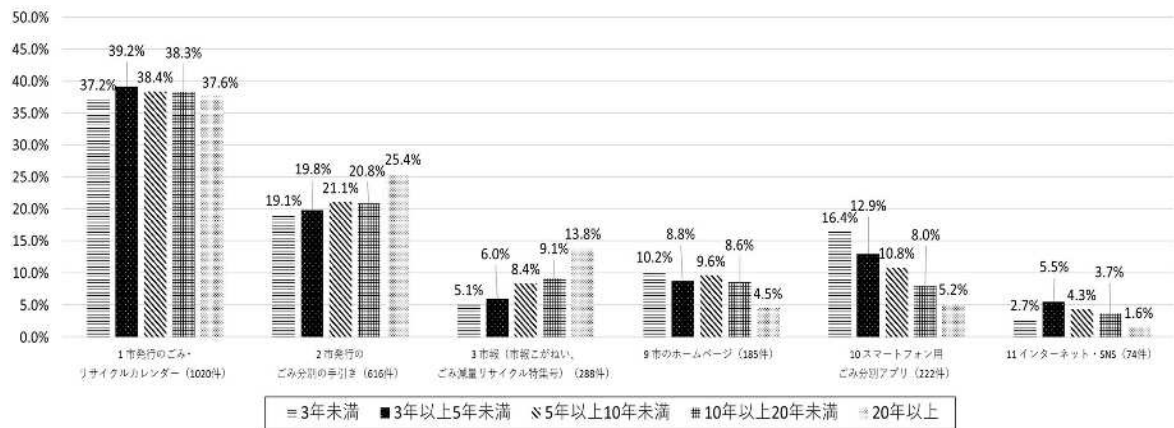


図 33 ごみに関する情報源【市民・居住年数】

(3) 施策・取組の認知度

資源物の集団回収について世帯構成別では、単身世帯の認知度が低い傾向です。拠点回収については食品トレイ、紙パック、ペットボトルを活用したことがある市民が多いですが、世帯構成別にみると単身世帯では割合が低い状況です。加えて単身世帯は食品トレイ、紙パックの拠点回収について、知っているが利用・活用したことがない割合も多い状況です。これらは生活スタイルの違いにより排出されるごみ種の違いに起因する可能性があります、特に単身世帯向けの利用しやすさを向上させる取組が必要です。

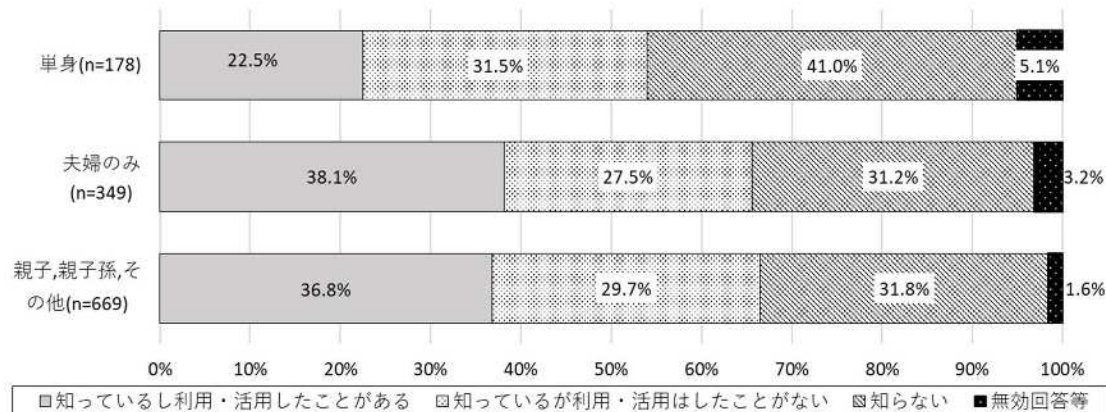


図 34 資源物の集団回収の認知度【市民・世帯構成別】

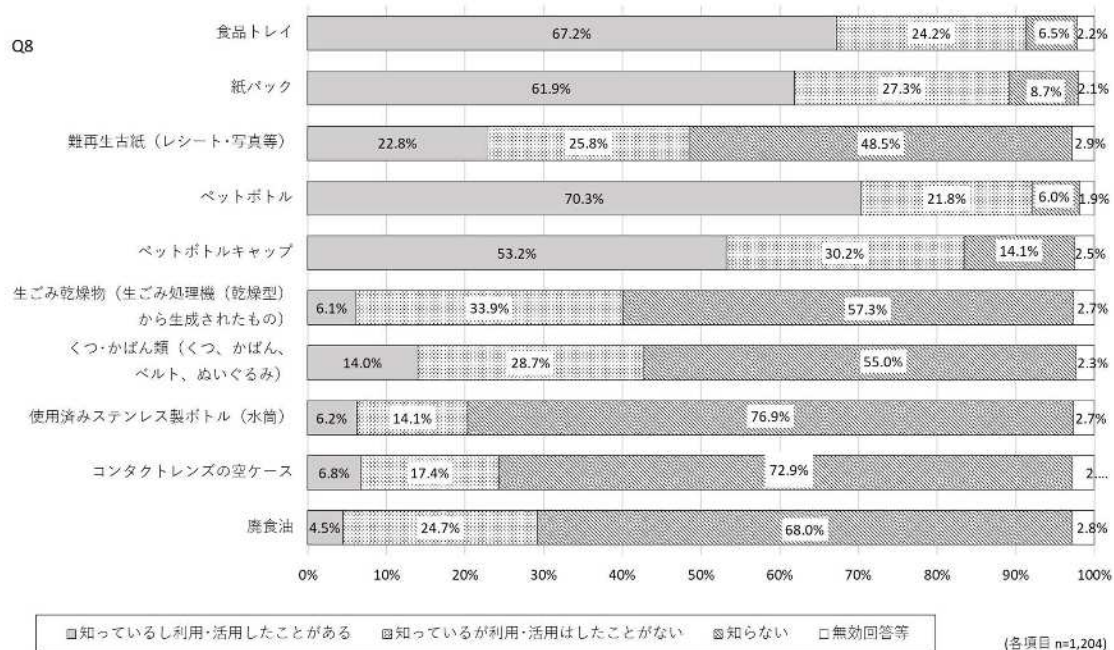


図 35 資源物の拠点回収の認知度【市民】

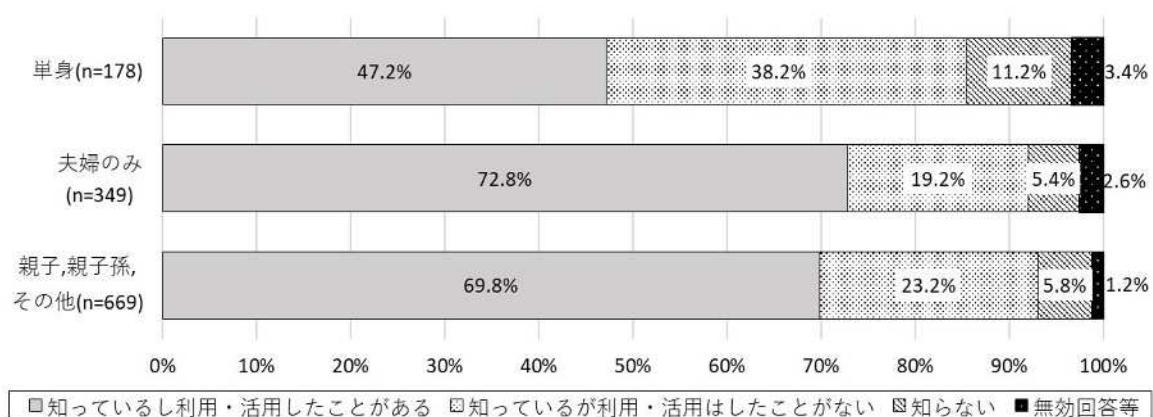


図 36 拠点回収の認知度（食品トレイ）【市民・世帯構成別】

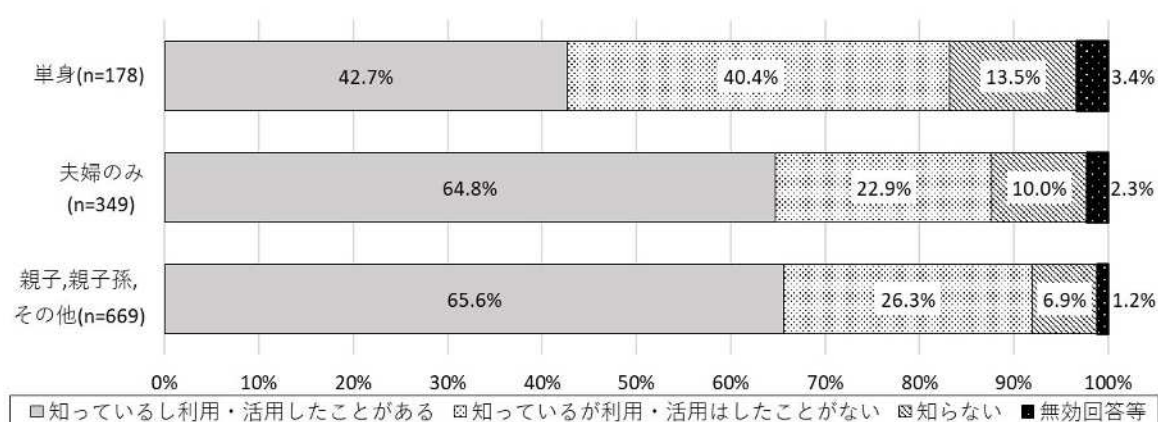


図 37 拠点回収の認知度（紙パック）【市民・世帯構成別】

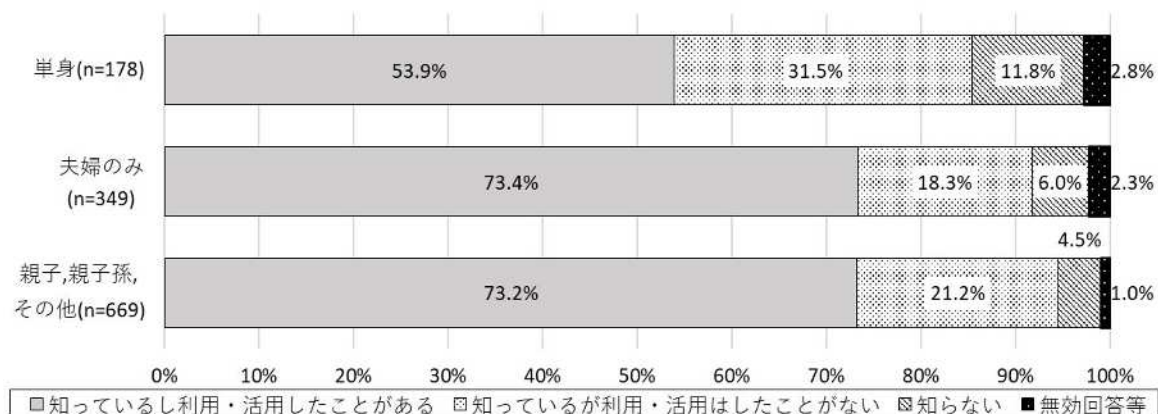


図 38 拠点回収の認知度（ペットボトル）【市民・世帯構成別】

(4)生ごみ・食品ロス

生ごみ、食品ロスに関する市が行っている取組についての認知度は、全体的に低い傾向にあります。また、生ごみ減量化処理機器購入費補助制度の認知度は6割程度であるのに対し、生ごみ処理機を使用している人の割合は1割程度に留まっており、補助制度のあり方について検討が必要です。

普段捨てていると思う「食品ロス」については、消費期限（安全に食べることができる期限）が切れてしまった食品が最も多く、未利用品、食べ残しを合わせると7割以上に及びます。市民から事業者に必要な量の販売・提供（少量パック、量り売り、小盛など）を望む割合が多いことや、賞味期限が近い商品の割引制度が望まれていること、事業者からは飲食店と連携したキャンペーンの実施を求められていることから、事業者も含めた食品ロスの削減に向けた取組が必要です。

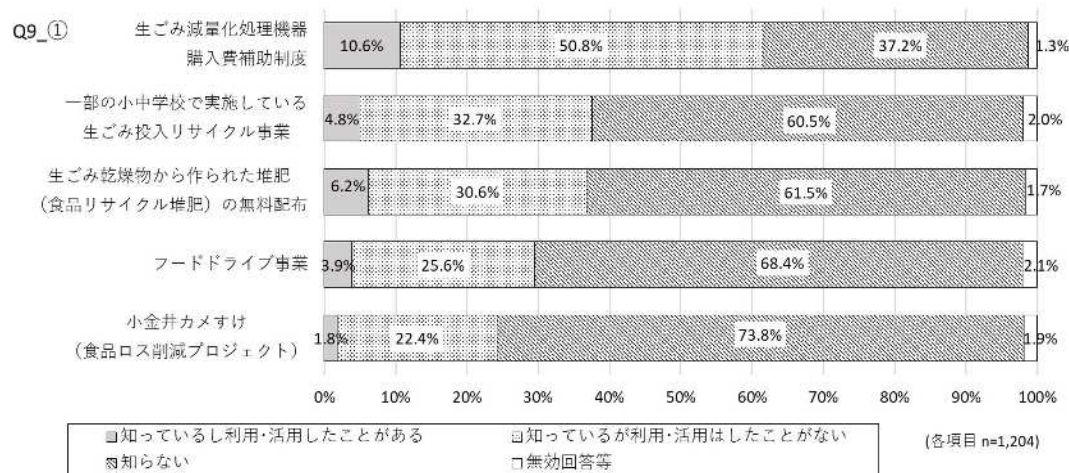


図 39 食品ロスに関する施策の認知度【市民】

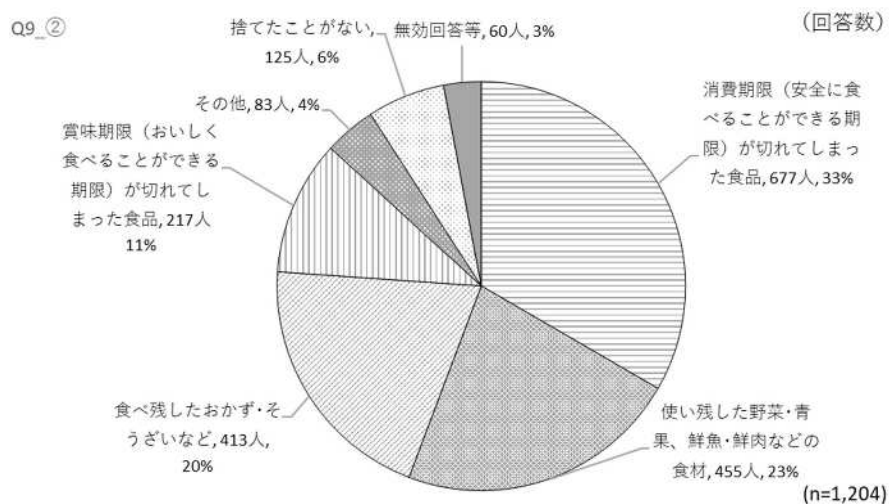


図 40 食品ロスに関する排出状況【市民】

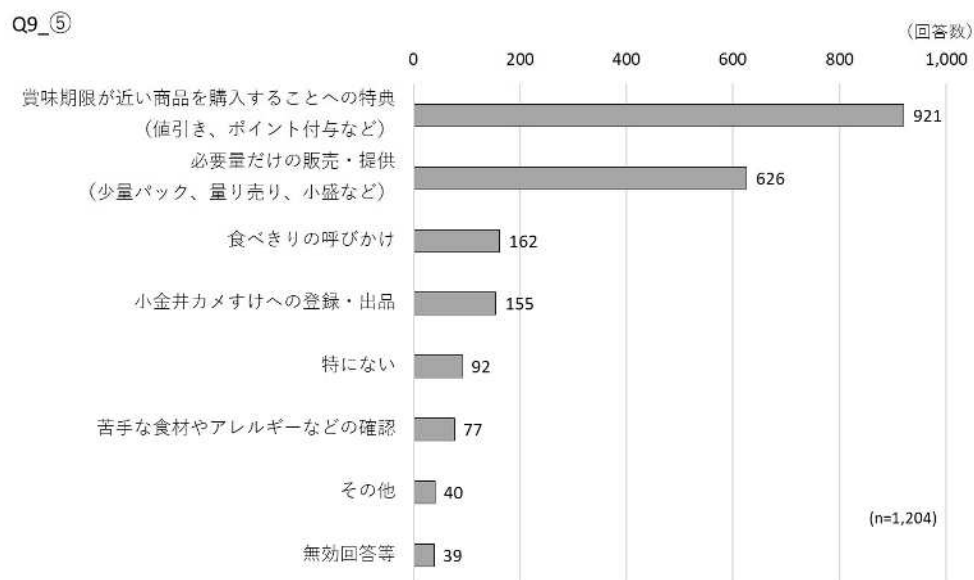


図 41 事業者に求める取組調査結果【市民】

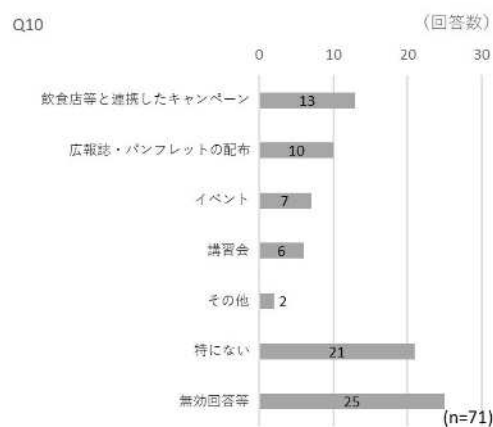


図 42 食品ロス削減のために市に実施してほしい施策【事業所】

(5)プラスチック・充電式電池

プラスチック製容器包装とプラスチックだけでできている製品について、汚れていないものはプラスチックごみの日に出している割合が9割を超えています。汚れのついたものについては、7割程度が汚れを落とし適正に排出している一方、2割程度が汚れを気にせず排出しているか、燃やすごみもしくは燃やさないごみの日に排出しており、さらなる分別徹底が必要な状況です。

充電式電池については、7割以上が正しい方法で捨てていますが、正しく出していない、正しい排出方法が分からない、まだ捨てたことがないという回答が2割以上を占めていることから、安全面を考慮した正しい排出方法の周知徹底が必要です。

また、市に求める施策として、「ごみやリサイクルに関する情報発信の充実」、「生産者、販売者への自主回収促進の働きかけ」が必要との回答が多いことから（図 32）、適正排出に向けて、情報発信の充実や事業者を含めた施策の展開が必要です。

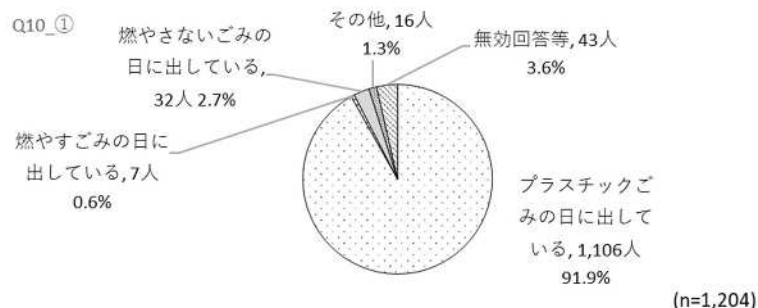


図 43 汚れていないプラスチックごみの排出状況【市民】

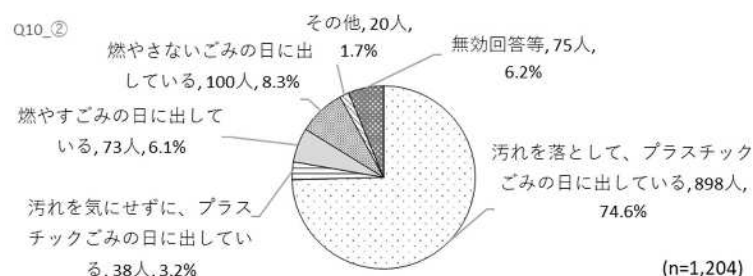


図 44 汚れたプラスチックごみの排出状況【市民】

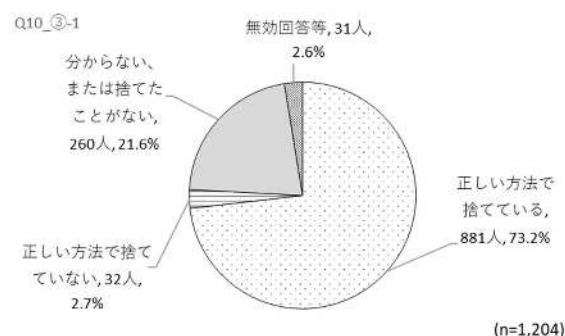


図 45 充電式電池が内蔵されている製品の排出状況【市民】

(6)リユース事業の利用状況

リユース事業の利用状況については、リユースショップの買取サービス、フリマアプリが多い一方、利用したことがないと回答した割合も多い結果となっています。また、これらのサービスを「過去に利用したことがあるだけであり、継続的に利用していない」ことも考えられます。

年齢別では、不用品買取サービス、公園でのフリーマーケットを利用したことがある市民が一定数いる一方、リユース事業を利用したことがない市民は70歳以上が最も多い結果となり、周知方法の見直し、サービス・事業の利用しやすさを向上させるような取組が必要です。

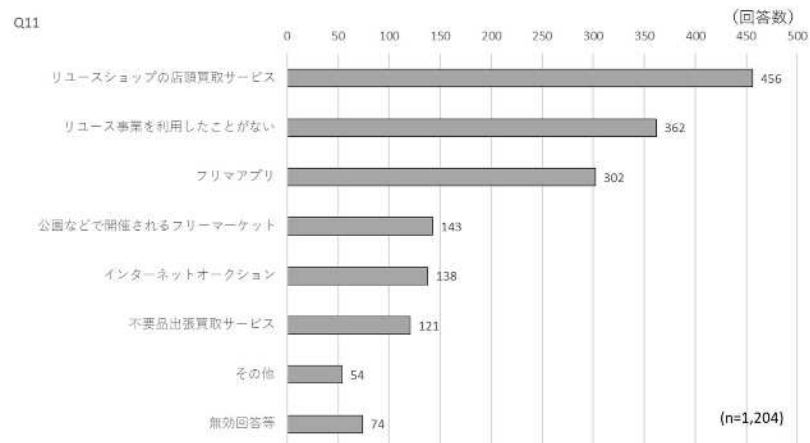


図 46 リユース事業の利用状況【市民】

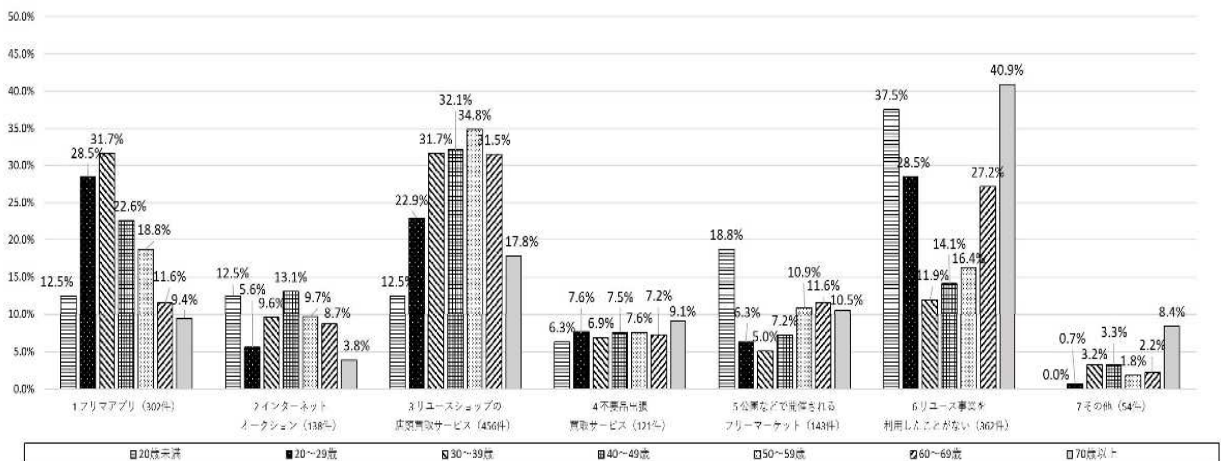


図 47 リユース事業の利用状況【市民・年齢】

(7)事業所の取組状況

ごみ減量・リサイクルに関する事業所の取組状況については、ペーパーレス化、再生紙などの再生用品の使用に努めているとの回答が多い一方、「リサイクル推進協力店」の認定に対する意識や、出張講座を活用した講演会の実施が少ないことから、市の実施する施策を積極的に活用している事業所が少なく、施策の周知徹底を図る必要があります。

なお、ごみ減量・リサイクルに取り組む主な理由を見ると、ごみ処理コスト削減につながる施策の実施が3R促進につながる可能性があり、そのような視点での取組が必要です。

事業所から排出される食用廃油、ペットボトル、プラスチック類、缶類、びん等の産業廃棄物を一般廃棄物として排出しているという回答があったことから、事業所に向けた適正排出の指導を行う必要があります。

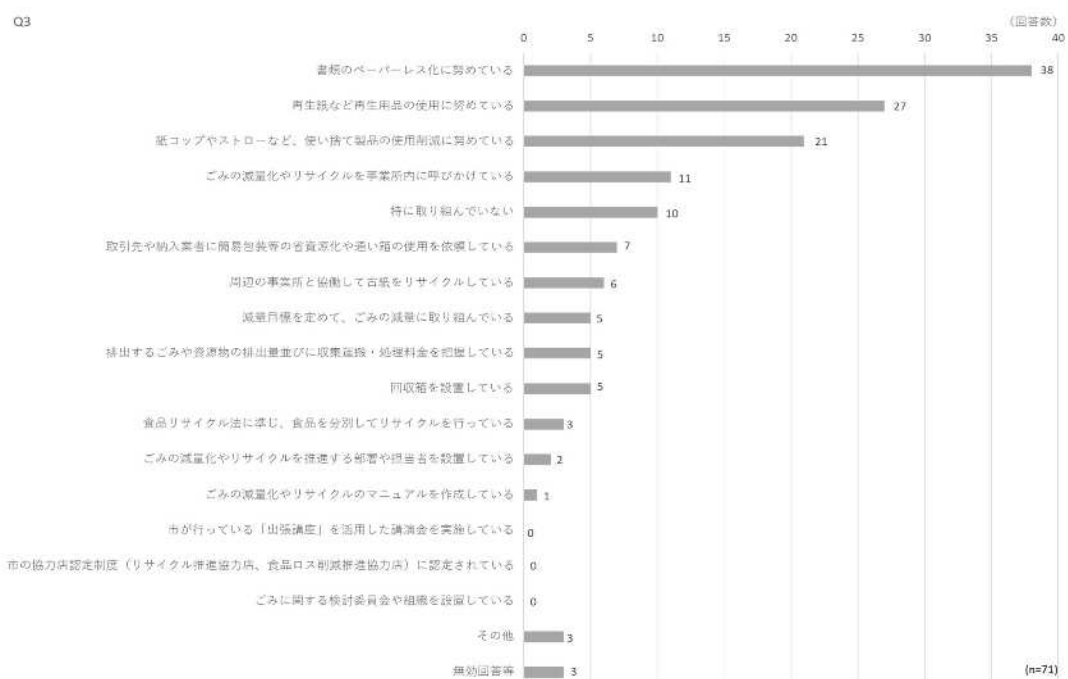


図 48 ごみ減量・リサイクルに関する取組状況の調査結果【事業所】

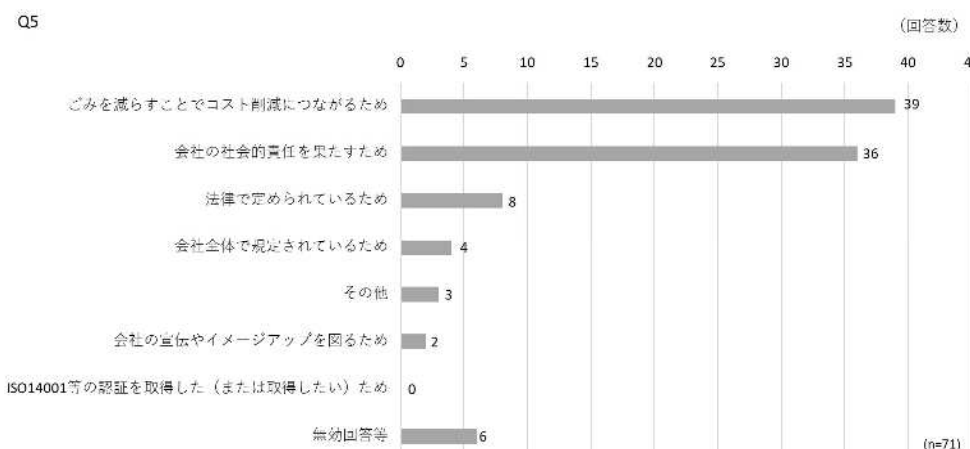


図 49 ごみ減量・リサイクルに取り組む理由調査の結果【事業所】

3. ごみ組成調査からの課題

(1) 燃やすごみの課題

厨芥類は単身集合住宅からの排出は比較的少なく、戸建て住宅及びファミリー向け集合住宅から排出が多いほか、事業所からの排出も多い状況です。資源となる紙、プラスチック類は単身集合住宅、事業所からの排出が多く、戸建て住宅、ファミリー向け集合住宅からの排出も確認されている状況です。

前回ごみ組成調査結果との比較では、単身集合住宅のその他可燃の割合が大きく増加し、戸建て住宅の資源となる紙の割合が増加しています。燃やすごみの量を減らし、資源となるごみを増やすために居住形態別に分別徹底の周知が必要です。

	単位	戸建て住宅	ファミリー向け集合住宅	単身集合住宅	家庭平均	事業所
厨芥類	%	46.1	51.9	26.0	41.3	53.3
紙類	%	8.8	7.8	14.5	10.4	13.5
草木類	%	0.7	1.3	0.1	0.7	3.0
繊維類	%	2.2	1.6	2.1	2.0	0.1
プラスチック類	%	8.7	7.4	12.8	9.7	4.9
ゴム・皮革類	%	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2
ゴム・皮革類以外	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
使用済み紙おむつ	%	1.4	4.8	5.7	4.0	0.4
金属類	%	0.2	0.2	1.8	0.8	0.1
びん、ガラス類	%	0.0	0.0	1.4	0.5	0.0
その他	%	31.5	25.0	35.4	30.5	24.5

図 50 燃やせるごみの組成調査結果⁵

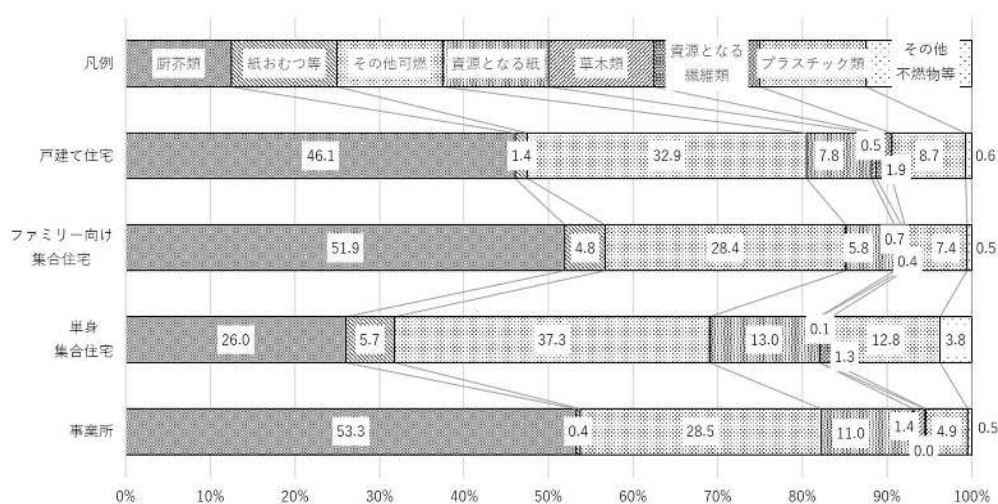


図 51 燃やせるごみの組成調査結果の内訳

⁵ごみ組成調査はパッカー車で収集したごみを湿ベースで調査

家庭系：収集された燃やすごみが調査対象

事業系：許可業者が収集した事業系燃やすごみが調査対象
(以下燃やさないごみも同条件)

(2) 燃やさないごみの課題

単身集合住宅からのくつ・かばん・ベルトの排出が多く、容器包装プラスチックの排出も戸建て住宅、ファミリー向け集合住宅と比較すると多い状況です。くつ・かばん・ベルトは市で拠点回収を行っているため、利用促進を図る必要があります。また、収集エリアにかかわらずセトモノ・ガラス・不燃物の排出が多い状況であり、容器包装プラスチックの排出は特に単身集合住宅からの排出が多い状況です。

前回ごみ組成調査結果との比較では、くつ・かばん・ベルトの割合、その他可燃の割合がどの居住形態でも増加し、びんについては戸建て住宅、単身集合住宅からの割合が増加したことを鑑みると、居住形態別に周知徹底を図る必要があります。

	単位	戸建て住宅	ファミリー向け集合住宅	単身集合住宅	家庭平均
厨芥類	%	0.27	1.71	2.82	1.60
紙類	%	2.48	2.06	1.59	2.00
草木類	%	0.03	0.0	0.0	0.0
繊維類	%	3.27	2.42	2.33	2.70
プラスチック類	%	27.0	20.2	19.1	22.2
ゴム・皮革類	%	19.7	13.1	29.0	20.6
ゴム・皮革類以外	%	2.14	1.05	0.35	1.20
使用済み紙おむつ	%	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	%	4.70	5.36	5.47	5.20
びん、ガラス類	%	2.92	0.99	3.82	2.60
その他	%	37.5	53.0	35.5	41.9

図 52 燃やさないごみの組成調査結果

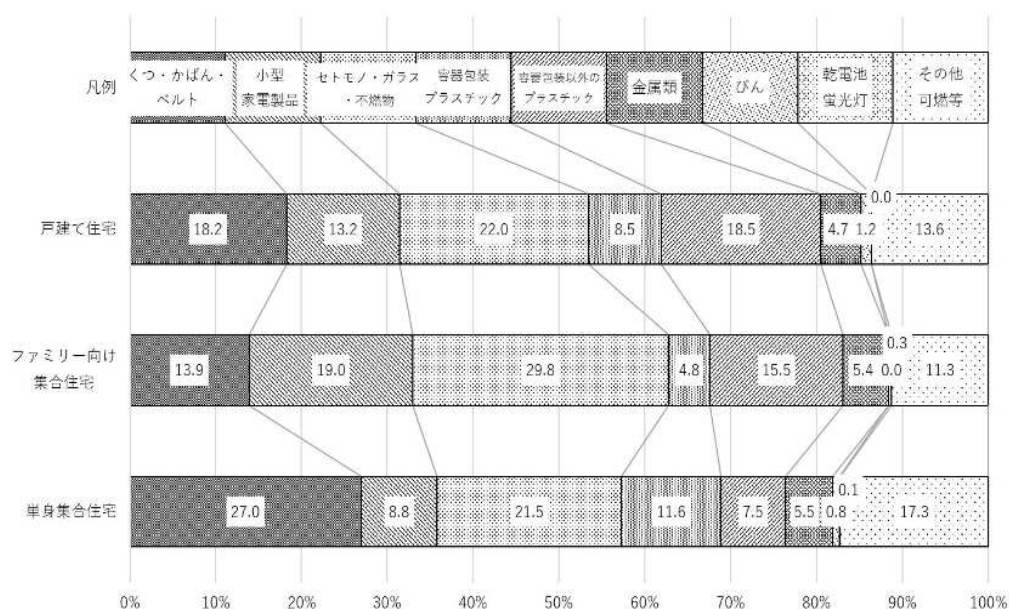


図 53 燃やさないごみの組成調査結果の内訳

【参考】

令和6年（2024年）度に実施した燃やすごみ組成分析の結果及び4回の結果の平均を以下に示します。紙類が45.2%と最も多く、次に厨芥類37.9%、ビニール・合成樹脂類10.7%となりました。

表 5 燃やすごみ組成分析調査結果

		単位	第1回	第2回	第3回	第4回	平均
実施日			令和6年8月22日	令和6年10月24日	令和6年12月17日	令和7年2月20日	
ごみ種類組成	紙類	%	36.2	51.3	49.5	43.7	45.2
	衣類	%	5.6	3.8	5.9	3.3	4.7
	ビニール・合成樹脂類	%	9.2	10.9	14.1	8.7	10.7
	ゴム・皮革類	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	木・竹・わら類	%	0.3	2.3	0.7	0.7	1.0
	厨芥類	%	48.6	30.9	29.0	43.1	37.9
	その他可燃物	%	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
	金属類	%	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
	ガラス類	%	0.1	0.3	0.2	0.0	0.2
	土砂・陶磁器類	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他不燃物	%	0.0	0.4	0.5	0.1	0.3

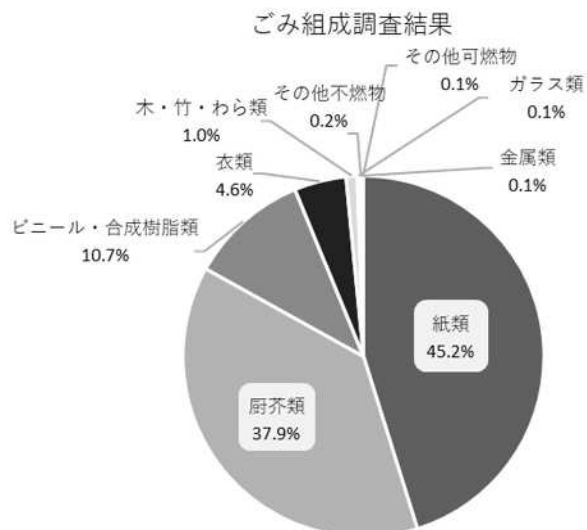


図 54 ごみ組成調査の結果

(令和6年度実施の結果の平均値より算出)

4. 国の動向・人口動態からの課題

国の動向を踏まえた取組の推進が必要であるほか、今後、少子高齢化の進行やデジタル技術の進展等による社会構造の変化や様々な生活スタイルの出現により、ごみ処理に関する様々なニーズや課題が発生することが見込まれます。

(1)SDGsや脱炭素社会・循環型社会の実現に向けた取組の必要性

SDGsの実現に向けて、本市においても、増加傾向にある外国人や（２）でも言及している高齢者を含め、全ての市民がごみの排出に困らず安心して暮らせるように、「誰一人取り残さない」ごみ処理のあり方を改めて検討する必要があります。また、脱炭素社会の実現に向けて、環境負荷の低減や効率的な処理・資源化の推進に重きを置いて取組を進めるほか、持続可能な形で資源を効率的・循環的に有効利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行が求められていることも踏まえ、リユースや再生材の利用に関する取組を強化しつつ、循環型社会の実現を目指す必要があります。

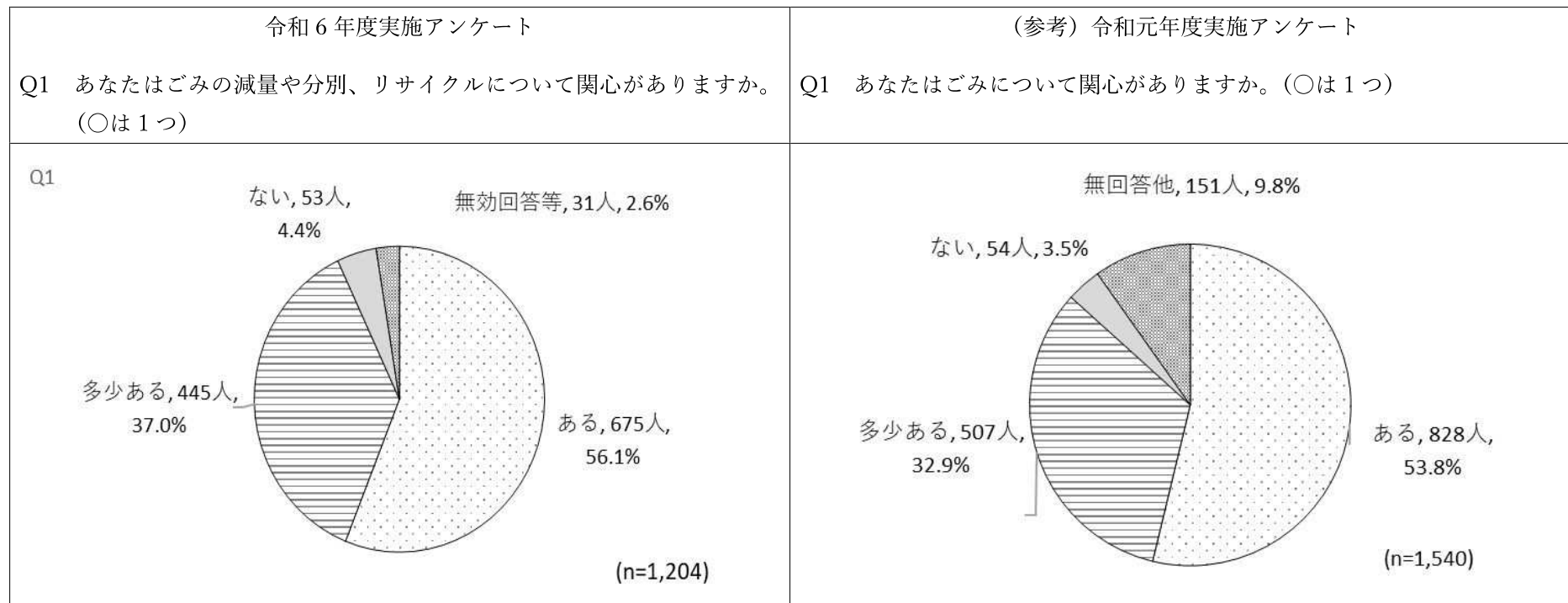
(2)少子高齢化を踏まえた取組の必要性

少子高齢化の進行により高齢者が増加し、排出されるごみの質が変化することが想定されるほか（例：大人用紙おむつの増加、（総菜等の消費増加による）容器包装プラスチック類の増加、体力的に分別が負担になることによる適正排出度合いの変化）、ごみの排出が困難な市民も増加することが想定されます。関連する庁内部署とも連携しつつ、このような変化も考慮した取組を検討する必要があります。また、取組全般においては、高齢者の増加を踏まえたデジタルデバインド（情報格差）の問題についても考慮する必要があります。

さらに、人手の面に着目すると、地域コミュニティの変化や「ごみゼロ化推進員制度」等のごみ処理の支援団体の担い手不足が生じる可能性があるほか、行政機能・公共施設においても、ごみ処理に関わる人員が不足する可能性があります。さらに、税収減に伴う清掃予算費の確保・保持が困難となることが見込まれ、処理の効率化はもちろんのこと、「1. （3）処理経費を考慮した取組の推進」とも関連しますが、費用対効果も踏まえた上で取組を実施していく必要があります。

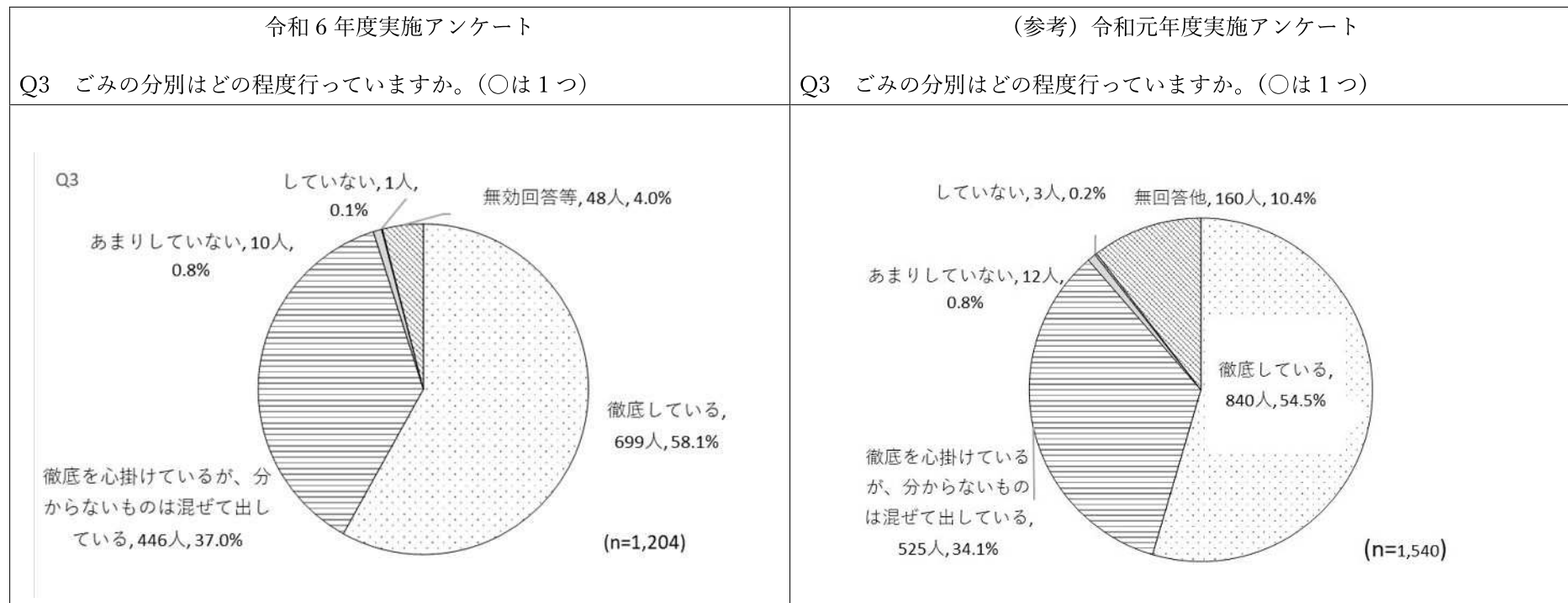
上記に対しては、デジタル技術の活用により既存のごみ処理システムの変革や効率化を図ることも方法の1つとして期待されますが、本市でのごみ処理に係るデジタル技術の導入状況や導入による効果も把握し、今後更なる導入促進等の検討が必要です。

【参考資料 1-1】 市民アンケート経年比較結果



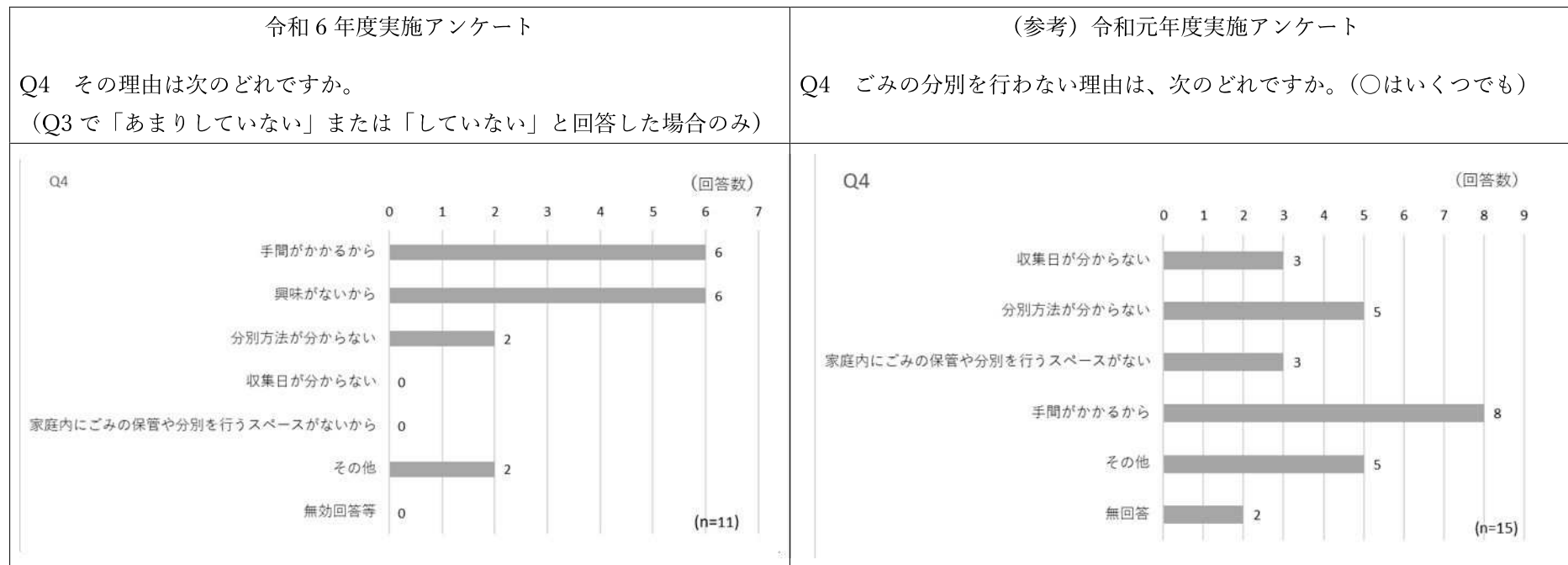
関心が「ある」と回答した割合は前回調査から 2.3 ポイント増加しました。また、関心が「ある」または「多少ある」と回答した割合の合計は前回調査から 6.4 ポイント増加しました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



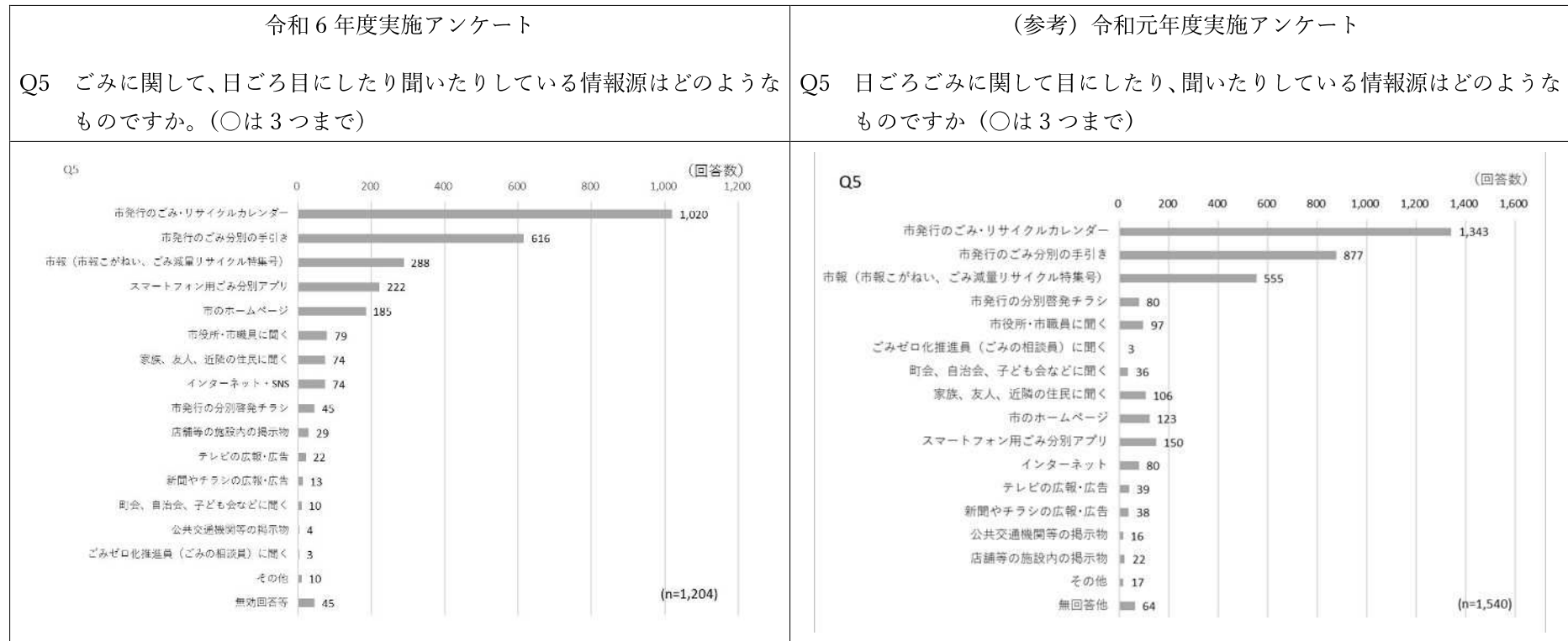
「徹底している」と回答した割合は前回調査から 3.6 ポイント増加、「徹底を心掛けているが、分からないものは混ぜて出している」と回答した割合は前回調査から 2.9 ポイント増加しました。一方、「あまりしていない」「していない」と回答した割合には変化が見られませんでした。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



前回調査と同じく「手間がかかるから」という理由が最も多く回答されました。また、今回調査では「興味がないから」という回答も多く得られました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果

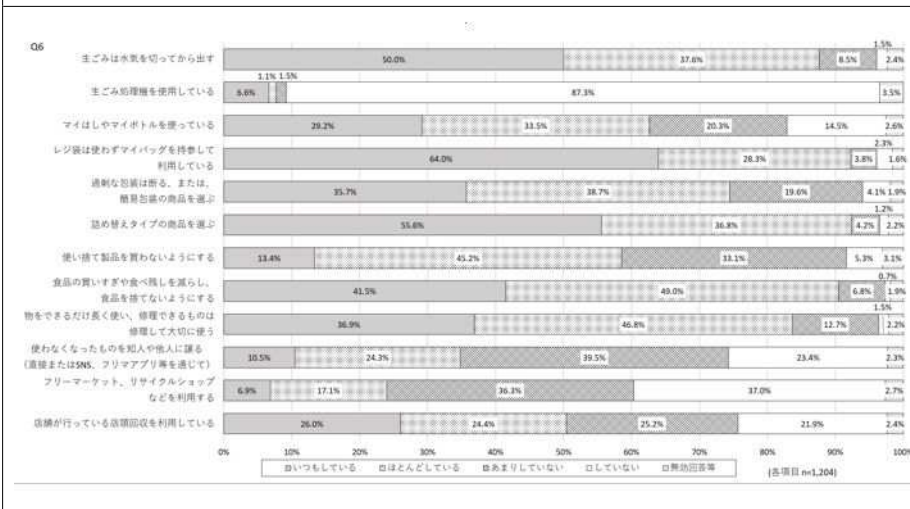


前回調査と同じく「市発行のごみ・リサイクルカレンダー」という回答が最も多く、次いで「市発行のごみ分別の手引き」「市報(市報こがねい、ごみ減量リサイクル特集号)」という回答が得られました。また、「スマートフォン用ごみ分別アプリ」「市のホームページ」という回答は、回答者数が減少した中でも、前回調査より多い回答数となりました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果

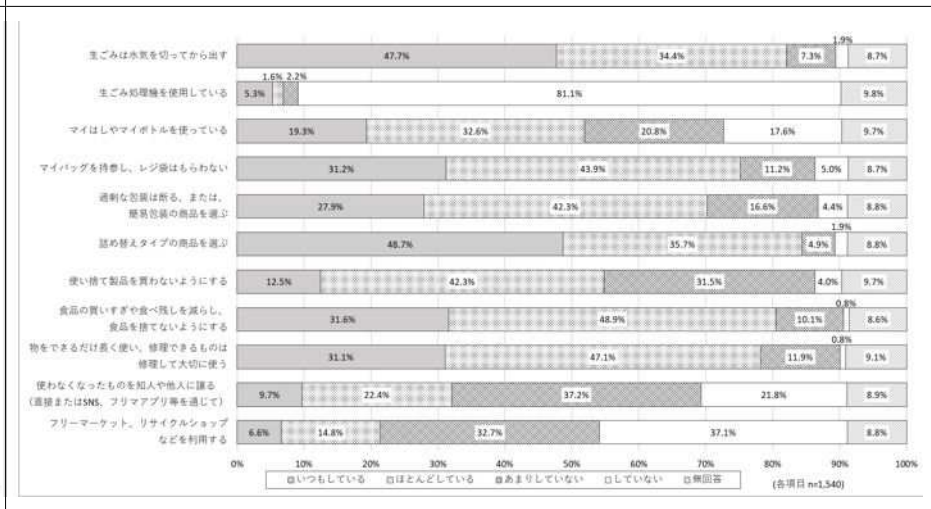
令和 6 年度実施アンケート

Q6 ごみの減量やリサイクルについて、現在どのようなことに、どの程度取り組んでいますか。



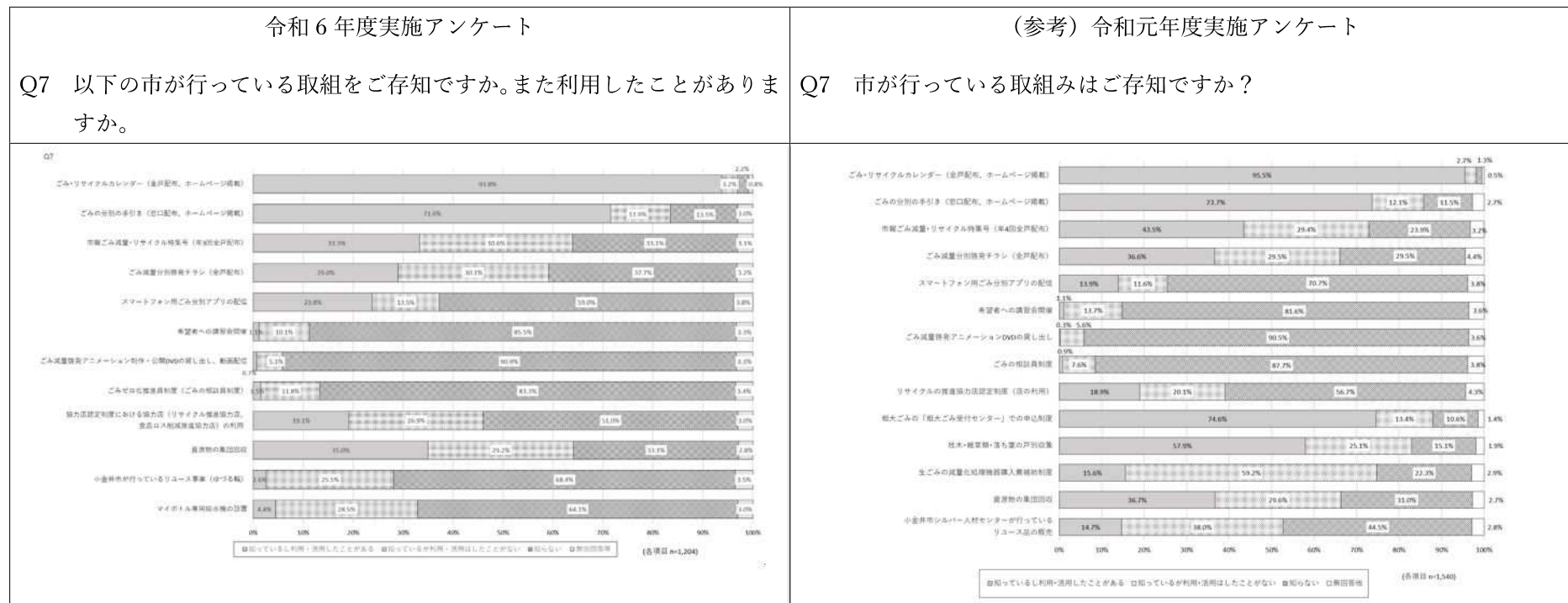
(参考) 令和元年度実施アンケート

Q6 ごみの減量やリサイクルについて、現在どのようなことに、どの程度取り組んでいますか。



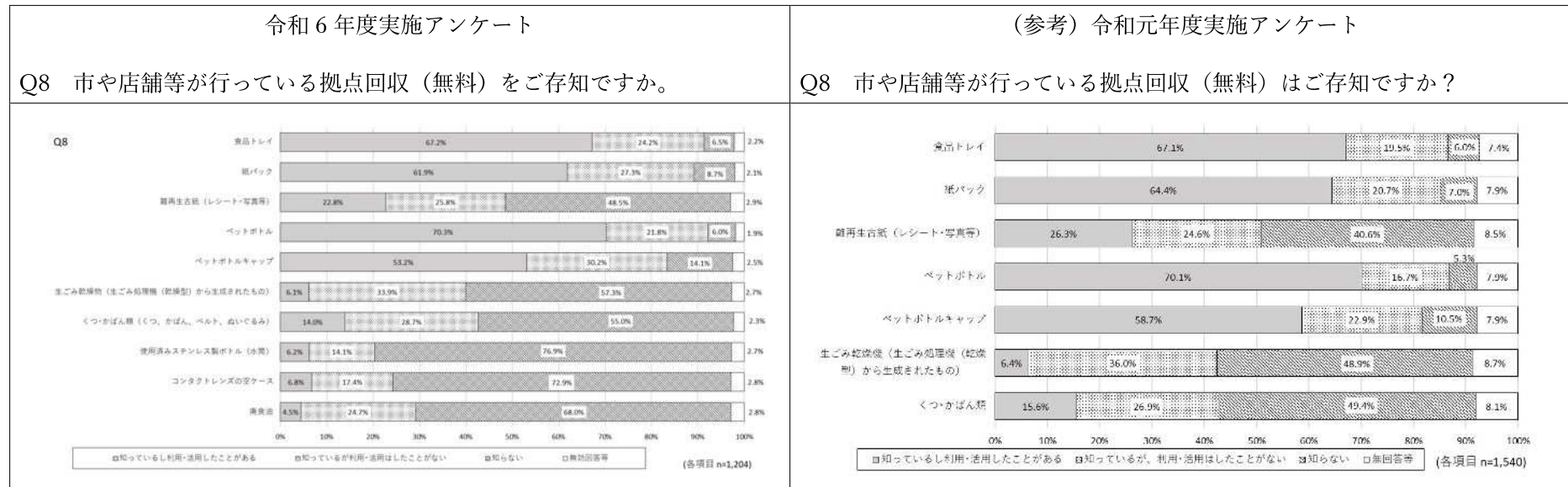
「レジ袋は使わずマイバッグを持参して利用している」という取り組みでは、「いつもしている」と回答した割合が前回調査から 32.8 ポイント、「ほとんどしている」を加えた割合も前回調査から 17.2 ポイントと、いずれも大きく増加しました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



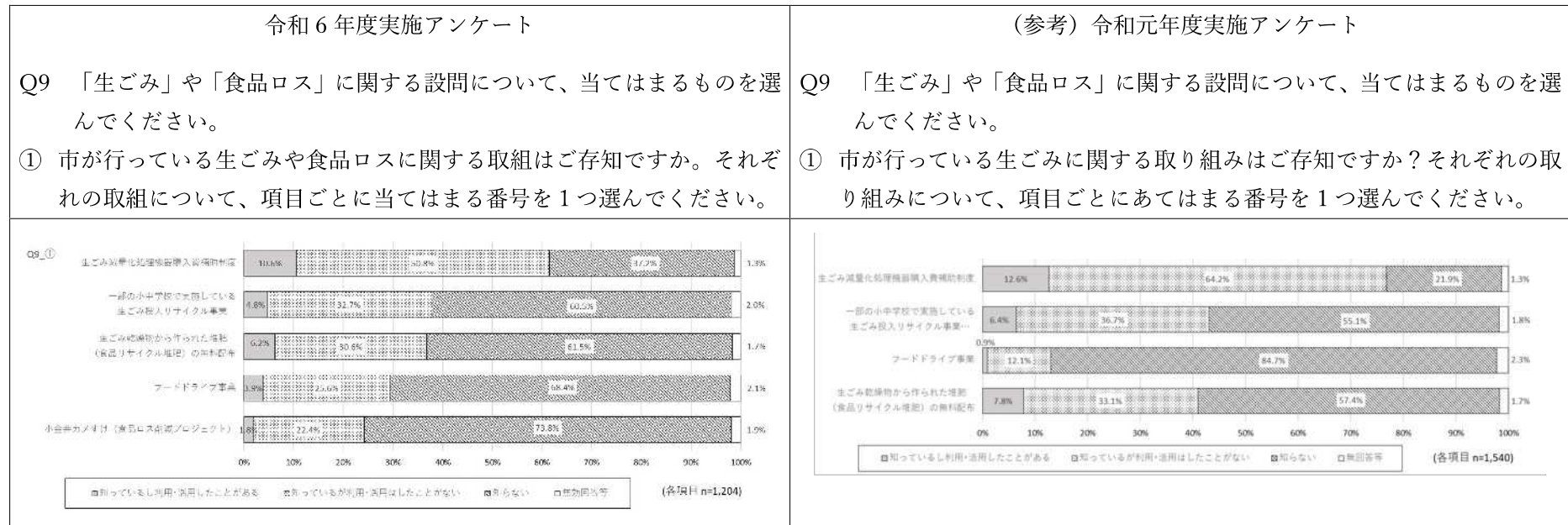
「知っているし利用・活用したことがある」と最も多く回答されたものは、前回調査と同じく「ごみ・リサイクルカレンダー（全戸配布、ホームページ掲載）」でした。スマートフォン用ごみ分別アプリの配信は前回調査よりも増加しました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



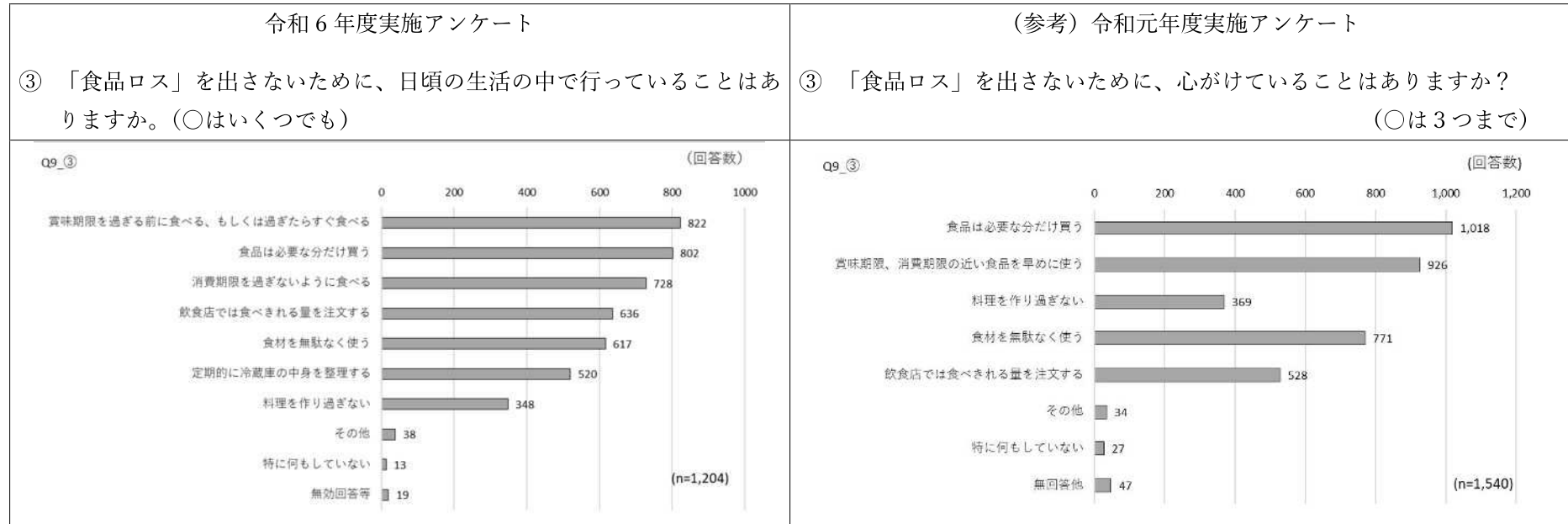
「知らない」と回答した割合は食品トレイで 0.5 ポイント増加、「紙パック」で 1.7 ポイント増加、「難再生古紙（レシート・写真等）」で 7.9 ポイント増加、「ペットボトル」で 0.7 ポイント増加、「ペットボトルキャップ」で 3.6 ポイント増加、「生ごみ乾燥物（生ごみ処理機（乾燥型）から生成されたもの）」で 8.4 ポイント増加、「くつ・かばん類（くつ、かばん、ベルト、ぬいぐるみ）」で 5.6 ポイント増加、となりました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



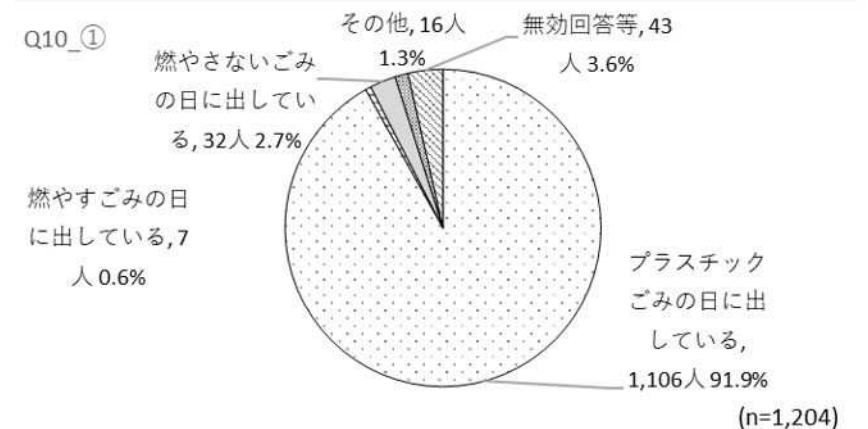
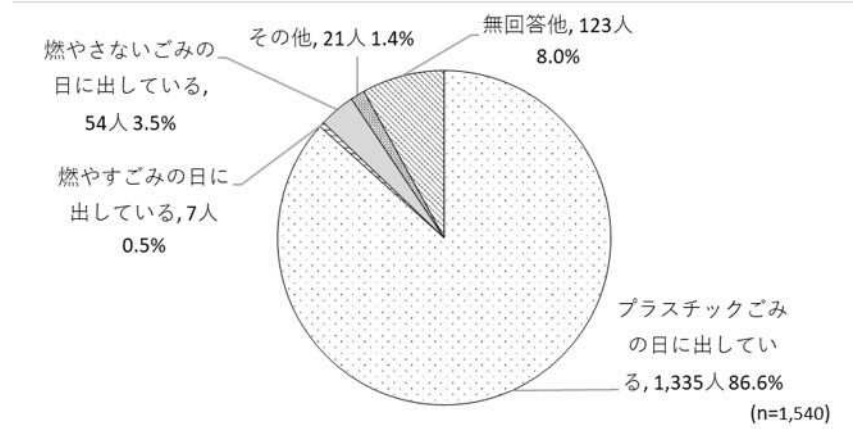
「フードドライブ事業」は「知っているし利用・活用したことがある」と回答した割合が 3 ポイント増加、「知っているが利用・活用したことがない」と回答した割合が 13.5 ポイント増加しました。一方、前回調査時の設問に含まれているその他の取組では「知っているし利用・活用したことがある」「知っているが利用・活用したことがない」と回答した割合が、いずれも前回調査より減少しています。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



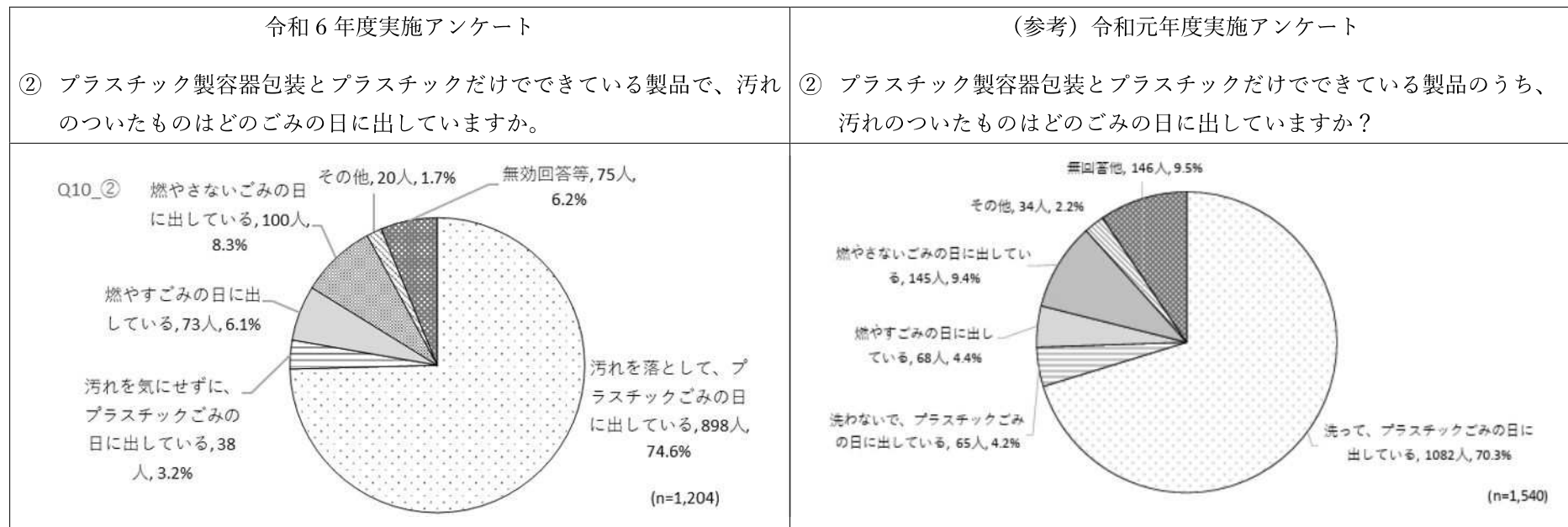
前回調査は「食品は必要な分だけ買う」が最も多く回答されていましたが、今回調査では「賞味期限を過ぎる前に食べる、もしくは過ぎたらすぐ食べる」が最も多く回答されました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果

令和6年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート																																				
Q10 プラスチックごみや燃やさないごみ等の出し方について、当てはまるものを1つずつ選んでください。 ① プラスチック製容器包装とプラスチックだけでできている製品で、汚れないものはどのごみの日に出していますか。	Q10 プラスチックごみや燃やさないごみ等の出し方について、当てはまるものを1つずつ選んでください。 ① プラスチック製容器包装とプラスチックだけでできている製品で、汚れないものはどのごみの日に出していますか？																																				
Q10_①  <table><tr><th>出し方</th><th>人数</th><th>割合</th></tr><tr><td>プラスチックごみの日に出している</td><td>1,106人</td><td>91.9%</td></tr><tr><td>燃やさないごみの日に出している</td><td>32人</td><td>2.7%</td></tr><tr><td>燃やすごみの日に出している</td><td>7人</td><td>0.6%</td></tr><tr><td>その他</td><td>16人</td><td>1.3%</td></tr><tr><td>無効回答等</td><td>43人</td><td>3.6%</td></tr></table> (n=1,204)	出し方	人数	割合	プラスチックごみの日に出している	1,106人	91.9%	燃やさないごみの日に出している	32人	2.7%	燃やすごみの日に出している	7人	0.6%	その他	16人	1.3%	無効回答等	43人	3.6%	 <table><tr><th>出し方</th><th>人数</th><th>割合</th></tr><tr><td>プラスチックごみの日に出している</td><td>1,335人</td><td>86.6%</td></tr><tr><td>燃やさないごみの日に出している</td><td>54人</td><td>3.5%</td></tr><tr><td>燃やすごみの日に出している</td><td>7人</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>その他</td><td>21人</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>無回答他</td><td>123人</td><td>8.0%</td></tr></table> (n=1,540)	出し方	人数	割合	プラスチックごみの日に出している	1,335人	86.6%	燃やさないごみの日に出している	54人	3.5%	燃やすごみの日に出している	7人	0.5%	その他	21人	1.4%	無回答他	123人	8.0%
出し方	人数	割合																																			
プラスチックごみの日に出している	1,106人	91.9%																																			
燃やさないごみの日に出している	32人	2.7%																																			
燃やすごみの日に出している	7人	0.6%																																			
その他	16人	1.3%																																			
無効回答等	43人	3.6%																																			
出し方	人数	割合																																			
プラスチックごみの日に出している	1,335人	86.6%																																			
燃やさないごみの日に出している	54人	3.5%																																			
燃やすごみの日に出している	7人	0.5%																																			
その他	21人	1.4%																																			
無回答他	123人	8.0%																																			

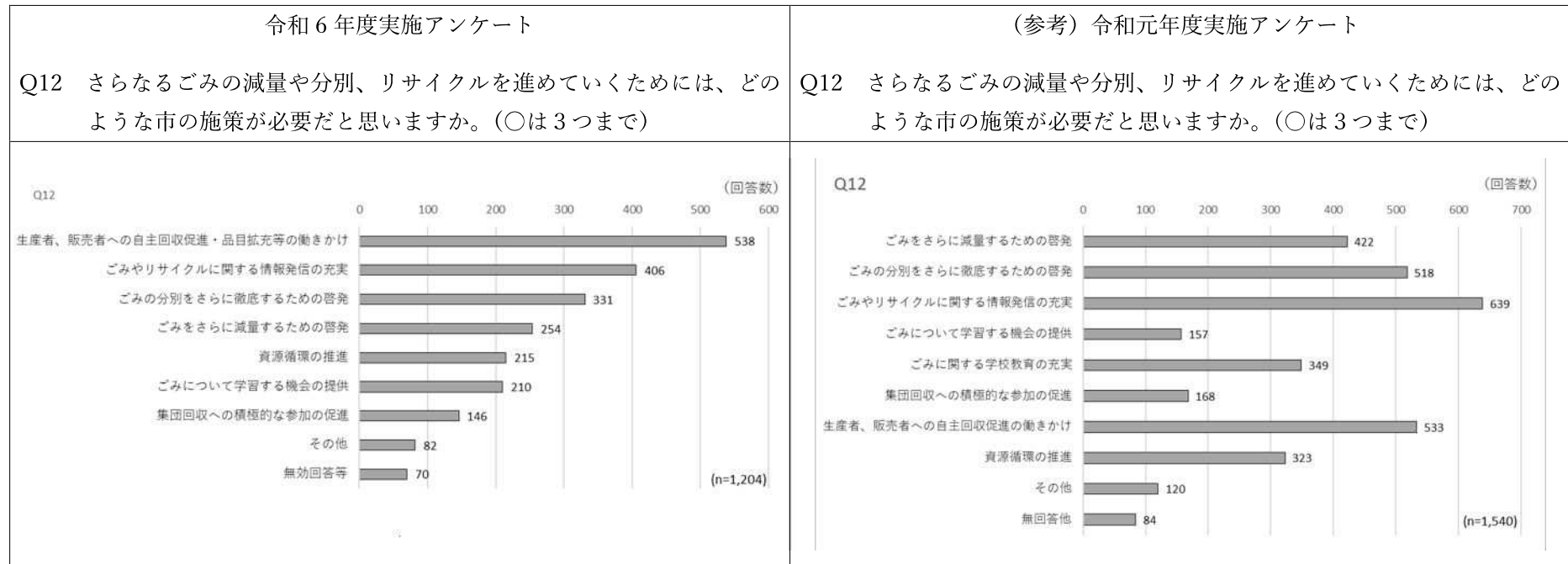
「プラスチックごみの日に出している」と回答した割合が前回調査から 5.3 ポイント増加しました。一方、「燃やさないごみの日に出している」という回答は前回調査から 0.8 ポイント減少しました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



「汚れを落として、プラスチックごみの日に出している」と回答した割合は前回調査から 4.3 ポイント増加しました。また、「燃やすごみの日に出している」という回答も前回調査から 1.7 ポイント増加しました。

【参考資料 1-1】市民アンケート経年比較結果



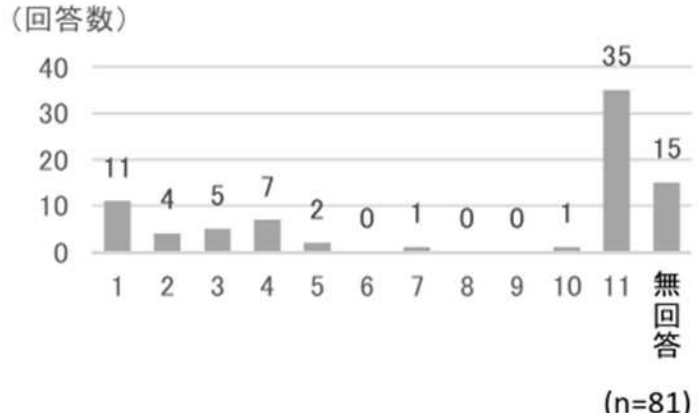
前回調査では2番目に多く得られた「生産者、販売者への自主回収促進の働きかけ」という回答が、今回調査では最も多く得られました。一方、前回調査で最も多く得られた「ごみやリサイクルに関する情報発信の充実」という回答は、今回調査では2番目に多い結果となりました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ①生ごみ・食品廃棄物	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ①生ごみ
(回答数) ①生ごみ・食品廃棄物 (n=71)	(回答数) (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

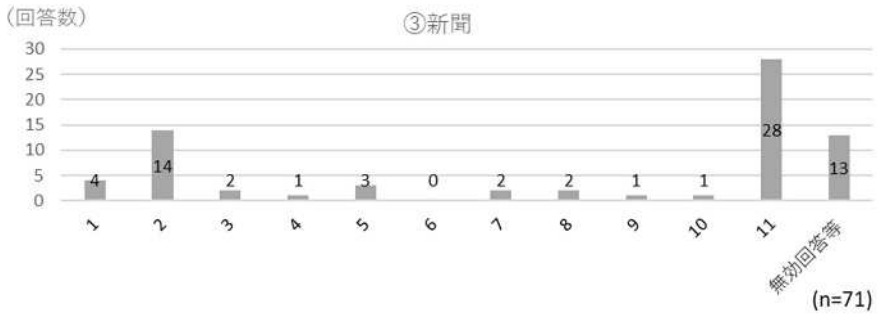
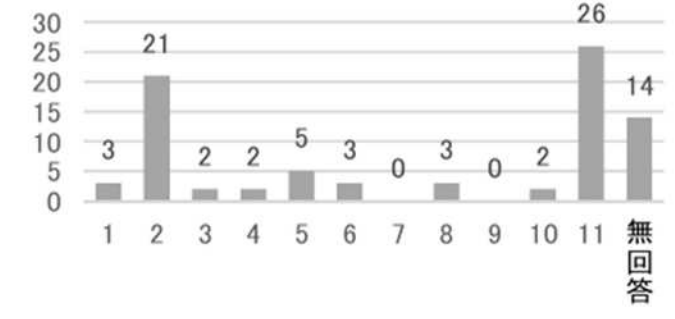
前回調査と同じく「一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している」が最も多く回答され、次いで「発生しない」、「事業用指定収集袋で出している」という回答が得られました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ②食用廃油	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ②食用廃油
 (回答数) ②食用廃油 (n=71)	 (回答数) (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

前回調査と同じく「発生しない」が最も多く回答されました。一方、前回回答が多かった「一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している」「産業廃棄物処理業者に処理を委託している」と回答した事業所は 4 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ③新聞	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ③新聞
(回答数) ③新聞  (n=71)	(回答数)  (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

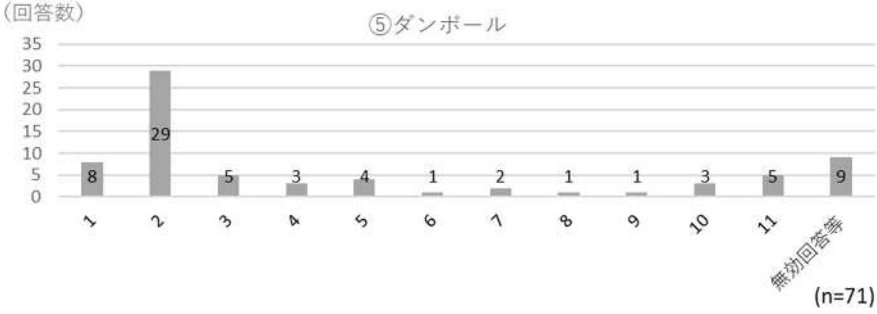
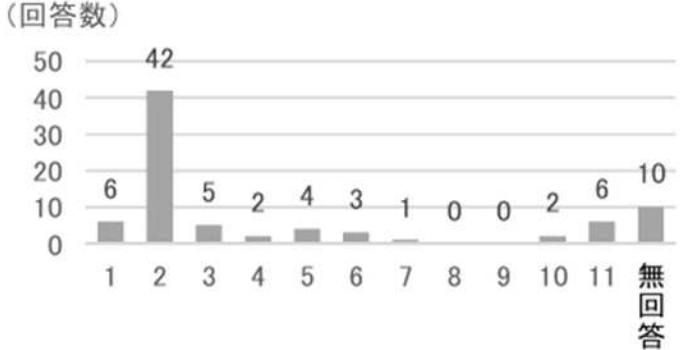
「発生しない」という回答は前回調査と同様に多く得られましたが、「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」という回答は前回調査から 7 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ④雑誌	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ④雑誌
(回答数) ④雑誌 (n=71)	(回答数) (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

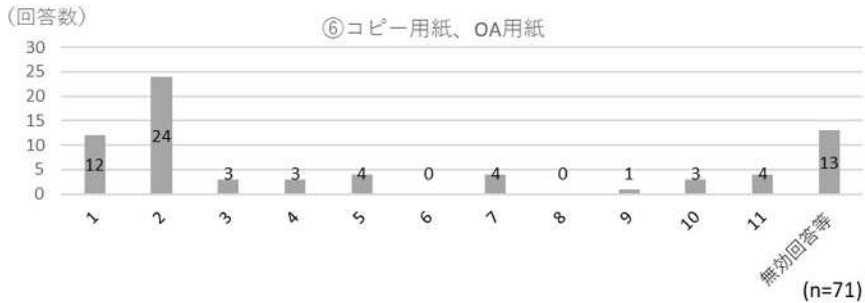
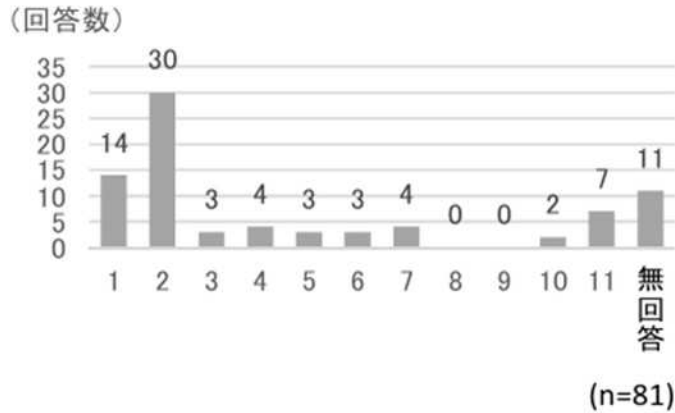
「発生しない」と回答した事業所が前回調査から 8 件増加した一方、「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」と回答した事業所は 15 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑤ダンボール	(参考) 令和元年度実施アンケート Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑤ダンボール																																																				
 (回答数) ⑤ダンボール <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>2</td><td>29</td></tr> <tr><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td></tr> <tr><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td>8</td><td>1</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td></tr> <tr><td>10</td><td>3</td></tr> <tr><td>11</td><td>5</td></tr> <tr><td>無効回答等</td><td>9</td></tr> </tbody> </table> (n=71)	選択肢	回答数	1	8	2	29	3	5	4	3	5	4	6	1	7	2	8	1	9	1	10	3	11	5	無効回答等	9	 (回答数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>2</td><td>42</td></tr> <tr><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>6</td><td>3</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>11</td><td>6</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>10</td></tr> </tbody> </table> (n=81)	選択肢	回答数	1	6	2	42	3	5	4	2	5	4	6	3	7	1	8	0	9	0	10	2	11	6	無回答	10
選択肢	回答数																																																				
1	8																																																				
2	29																																																				
3	5																																																				
4	3																																																				
5	4																																																				
6	1																																																				
7	2																																																				
8	1																																																				
9	1																																																				
10	3																																																				
11	5																																																				
無効回答等	9																																																				
選択肢	回答数																																																				
1	6																																																				
2	42																																																				
3	5																																																				
4	2																																																				
5	4																																																				
6	3																																																				
7	1																																																				
8	0																																																				
9	0																																																				
10	2																																																				
11	6																																																				
無回答	10																																																				
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない																																																					

「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」という回答が、前回調査から 13 件減少したものの、最も多くあげられました。「一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している」という回答は 2 件増加しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑥コピー用紙、OA 用紙	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑥コピー用紙、OA 用紙
 (n=71)	 (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

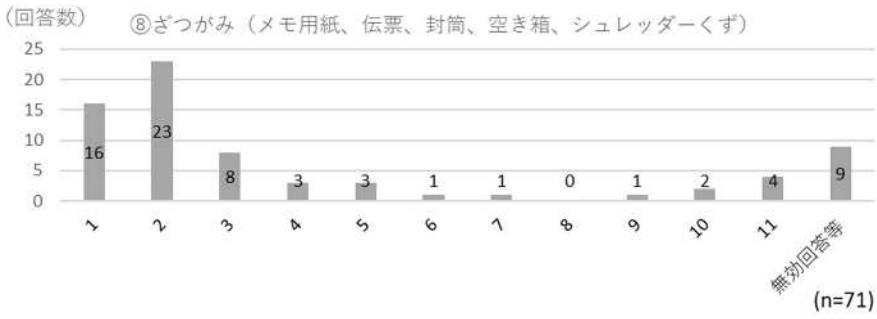
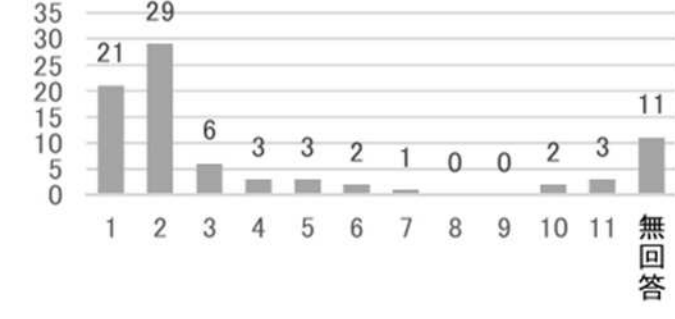
前回調査と同じく、「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」という回答が最も多く、次いで「一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している」という回答が得られました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑦機密文書	(参考) 令和元年度実施アンケート Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑦機密文書																																																				
(回答数) ⑦機密文書 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>13</td></tr> <tr><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>6</td><td>3</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>3</td></tr> <tr><td>10</td><td>1</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>無回答等</td><td>17</td></tr> </tbody> </table> (n=71)	選択肢	回答数	1	9	2	6	3	5	4	13	5	1	6	3	7	1	8	0	9	3	10	1	11	12	無回答等	17	(回答数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>2</td><td>15</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>7</td></tr> <tr><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>6</td><td>13</td></tr> <tr><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td></tr> <tr><td>10</td><td>1</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>15</td></tr> </tbody> </table> (n=81)	選択肢	回答数	1	11	2	15	3	3	4	7	5	1	6	13	7	2	8	0	9	1	10	1	11	12	無回答	15
選択肢	回答数																																																				
1	9																																																				
2	6																																																				
3	5																																																				
4	13																																																				
5	1																																																				
6	3																																																				
7	1																																																				
8	0																																																				
9	3																																																				
10	1																																																				
11	12																																																				
無回答等	17																																																				
選択肢	回答数																																																				
1	11																																																				
2	15																																																				
3	3																																																				
4	7																																																				
5	1																																																				
6	13																																																				
7	2																																																				
8	0																																																				
9	1																																																				
10	1																																																				
11	12																																																				
無回答	15																																																				
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない																																																					

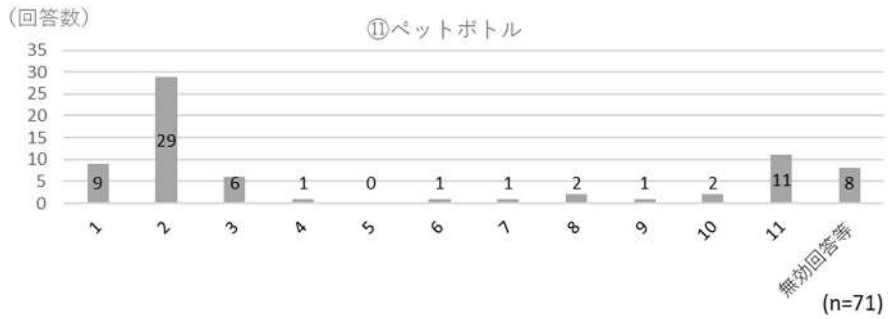
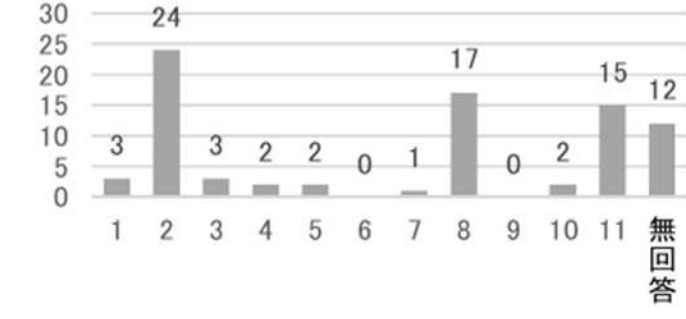
今回の調査では「産業廃棄物処理業者に処理を委託している」という回答が最も多く得られた一方、前回調査で最多だった「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」は 9 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑧ざつがみ (メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑧ざつがみ (メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)
(回答数) ⑧ざつがみ (メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず)  (n=71)	(回答数)  (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者 (販売者) が回収している 9. 本社 (本店) が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

前回調査と同じく「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」が最も多く、次いで「一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している」という回答が得られました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート																																																				
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑪ペットボトル	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑨ペットボトル																																																				
 ⑪ペットボトル <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>2</td><td>29</td></tr> <tr><td>3</td><td>6</td></tr> <tr><td>4</td><td>1</td></tr> <tr><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>2</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td></tr> <tr><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>11</td><td>11</td></tr> <tr><td>無効回答等</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> (n=71)	選択肢	回答数	1	9	2	29	3	6	4	1	5	0	6	1	7	1	8	2	9	1	10	2	11	11	無効回答等	8	 (回答数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>24</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>5</td><td>2</td></tr> <tr><td>6</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>17</td></tr> <tr><td>9</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>11</td><td>15</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>12</td></tr> </tbody> </table> (n=81)	選択肢	回答数	1	3	2	24	3	3	4	2	5	2	6	0	7	1	8	17	9	0	10	2	11	15	無回答	12
選択肢	回答数																																																				
1	9																																																				
2	29																																																				
3	6																																																				
4	1																																																				
5	0																																																				
6	1																																																				
7	1																																																				
8	2																																																				
9	1																																																				
10	2																																																				
11	11																																																				
無効回答等	8																																																				
選択肢	回答数																																																				
1	3																																																				
2	24																																																				
3	3																																																				
4	2																																																				
5	2																																																				
6	0																																																				
7	1																																																				
8	17																																																				
9	0																																																				
10	2																																																				
11	15																																																				
無回答	12																																																				
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない																																																					

前回調査と同じく「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」という回答が最多でした。一方、前回調査で 2 番目に多く回答された「納入業者（販売者）が回収している」については、缶類やびんと同じく、回答数が大きく減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑫プラスチック類	(参考) 令和元年度実施アンケート Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑩プラスチック類																																																				
(回答数) ⑫プラスチック類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分別・処理方法</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>19</td></tr> <tr><td>2</td><td>14</td></tr> <tr><td>3</td><td>15</td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td></tr> <tr><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>11</td><td>7</td></tr> <tr><td>無効回答</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> (n=71)	分別・処理方法	回答数	1	19	2	14	3	15	4	3	5	0	6	1	7	1	8	0	9	1	10	2	11	7	無効回答	8	(回答数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>分別・処理方法</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>16</td></tr> <tr><td>2</td><td>16</td></tr> <tr><td>3</td><td>18</td></tr> <tr><td>4</td><td>12</td></tr> <tr><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>2</td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>1</td></tr> <tr><td>9</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>1</td></tr> <tr><td>11</td><td>7</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> (n=81)	分別・処理方法	回答数	1	16	2	16	3	18	4	12	5	0	6	2	7	0	8	1	9	0	10	1	11	7	無回答	8
分別・処理方法	回答数																																																				
1	19																																																				
2	14																																																				
3	15																																																				
4	3																																																				
5	0																																																				
6	1																																																				
7	1																																																				
8	0																																																				
9	1																																																				
10	2																																																				
11	7																																																				
無効回答	8																																																				
分別・処理方法	回答数																																																				
1	16																																																				
2	16																																																				
3	18																																																				
4	12																																																				
5	0																																																				
6	2																																																				
7	0																																																				
8	1																																																				
9	0																																																				
10	1																																																				
11	7																																																				
無回答	8																																																				
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない																																																					

選択肢 1、2、3 については前回調査と同様に多くの回答が得られました。一方、「産業廃棄物処理業者に処理を委託している」については、前回調査から回答数が 9 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑬缶類	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑪缶類
(回答数) ⑬缶類 (n=71)	(回答数) (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

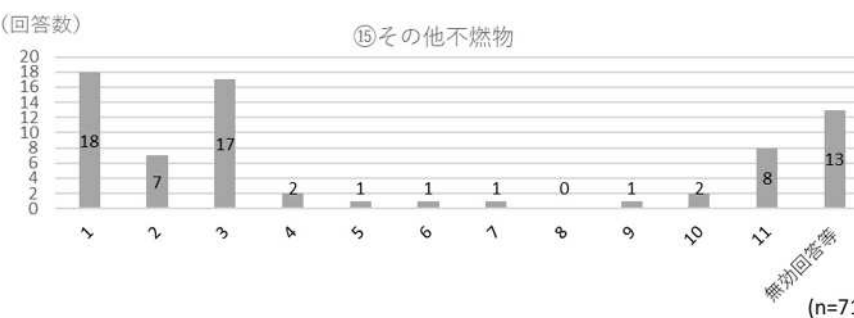
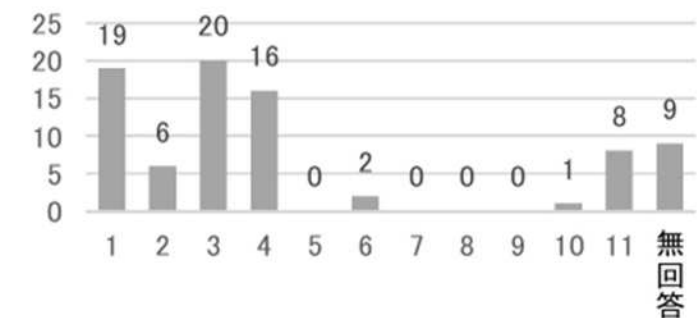
「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」という回答が最も多く得られました。一方、前回調査で多く得られた「納入業者（販売者）が回収している」は回答数が 11 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和6年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は1つ) ⑭びん	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は1つ) ⑫びん
(回答数) ⑭びん (n=71)	(回答数) (n=81)
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない	

「一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している」が前回同様に最も多く回答された一方、「納入業者（販売者）が回収している」についてはペットボトルや缶類と同じく、前回調査から回答数が減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート																																																				
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑮その他不燃物	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑬不燃ごみ																																																				
(回答数) ⑮その他不燃物  <table border="1"> <caption>⑮その他不燃物 (n=71)</caption> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>18</td></tr> <tr><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>3</td><td>17</td></tr> <tr><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>6</td><td>1</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td></tr> <tr><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>11</td><td>8</td></tr> <tr><td>無効回答等</td><td>13</td></tr> </tbody> </table>	選択肢	回答数	1	18	2	7	3	17	4	2	5	1	6	1	7	1	8	0	9	1	10	2	11	8	無効回答等	13	(回答数)  <table border="1"> <caption>⑬不燃ごみ (n=81)</caption> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>19</td></tr> <tr><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>3</td><td>20</td></tr> <tr><td>4</td><td>16</td></tr> <tr><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>2</td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>1</td></tr> <tr><td>11</td><td>8</td></tr> <tr><td>無効回答</td><td>9</td></tr> </tbody> </table>	選択肢	回答数	1	19	2	6	3	20	4	16	5	0	6	2	7	0	8	0	9	0	10	1	11	8	無効回答	9
選択肢	回答数																																																				
1	18																																																				
2	7																																																				
3	17																																																				
4	2																																																				
5	1																																																				
6	1																																																				
7	1																																																				
8	0																																																				
9	1																																																				
10	2																																																				
11	8																																																				
無効回答等	13																																																				
選択肢	回答数																																																				
1	19																																																				
2	6																																																				
3	20																																																				
4	16																																																				
5	0																																																				
6	2																																																				
7	0																																																				
8	0																																																				
9	0																																																				
10	1																																																				
11	8																																																				
無効回答	9																																																				
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない																																																					

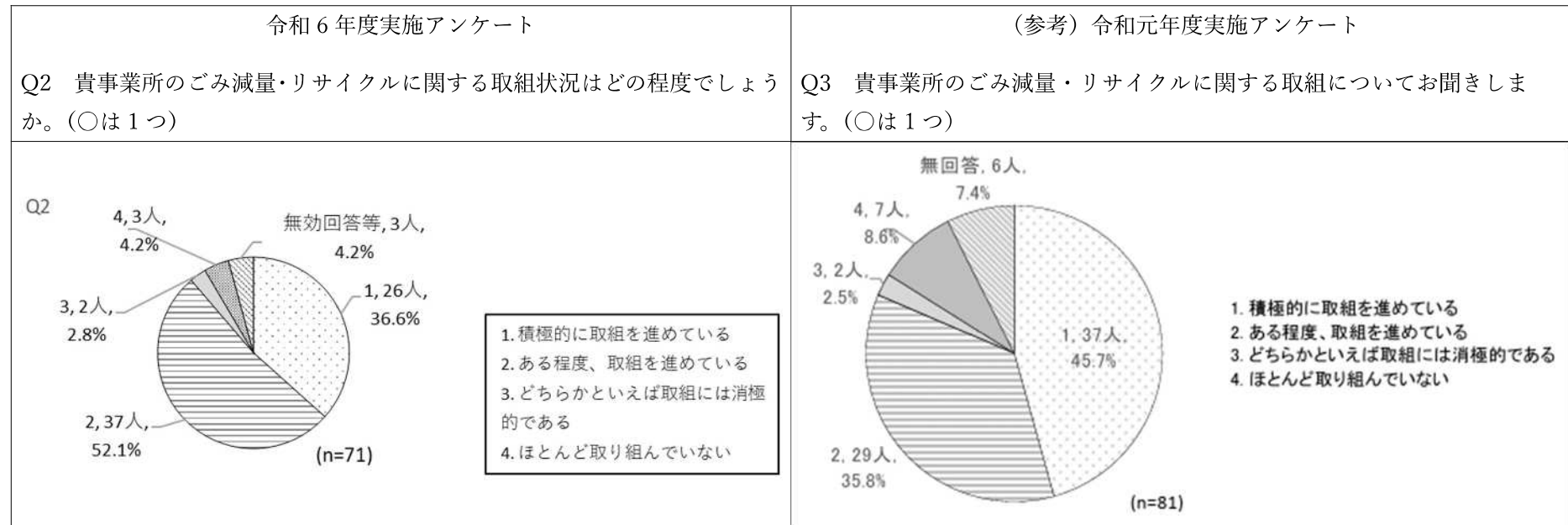
「一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している」「事業用指定収集袋で出している」は前回調査と同じく、多くの回答が得られましたが、「産業廃棄物処理業者に処理を委託している」については前回調査から 14 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート	(参考) 令和元年度実施アンケート																																																				
Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑯粗大ごみ	Q1 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、どのように分別・処理していますか。(○は 1 つ) ⑭粗大ごみ																																																				
(回答数) ⑯粗大ごみ <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>8</td></tr> <tr><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>1</td></tr> <tr><td>9</td><td>2</td></tr> <tr><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>11</td><td>17</td></tr> <tr><td>無効回答等</td><td>19</td></tr> </tbody> </table> (n=71)	選択肢	回答数	1	9	2	1	3	3	4	8	5	1	6	7	7	1	8	1	9	2	10	2	11	17	無効回答等	19	(回答数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>12</td></tr> <tr><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>3</td><td>0</td></tr> <tr><td>4</td><td>28</td></tr> <tr><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>6</td><td>4</td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>1</td></tr> <tr><td>9</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>1</td></tr> <tr><td>11</td><td>14</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>15</td></tr> </tbody> </table> (n=81)	選択肢	回答数	1	12	2	5	3	0	4	28	5	1	6	4	7	0	8	1	9	0	10	1	11	14	無回答	15
選択肢	回答数																																																				
1	9																																																				
2	1																																																				
3	3																																																				
4	8																																																				
5	1																																																				
6	7																																																				
7	1																																																				
8	1																																																				
9	2																																																				
10	2																																																				
11	17																																																				
無効回答等	19																																																				
選択肢	回答数																																																				
1	12																																																				
2	5																																																				
3	0																																																				
4	28																																																				
5	1																																																				
6	4																																																				
7	0																																																				
8	1																																																				
9	0																																																				
10	1																																																				
11	14																																																				
無回答	15																																																				
【選択肢】 1. 一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している 2. 一般廃棄物収集運搬業許可業者に資源物として出している 3. 事業用指定収集袋で出している 4. 産業廃棄物処理業者に処理を委託している 5. リサイクル業者に売却している 6. 処理費用を支払って直接リサイクル業者に資源化を依頼している 7. 企業内・企業グループ内でリサイクルしている 8. 納入業者（販売者）が回収している 9. 本社（本店）が一括しているので分からない 10. 建物の管理会社に任せているので分からない 11. 発生しない																																																					

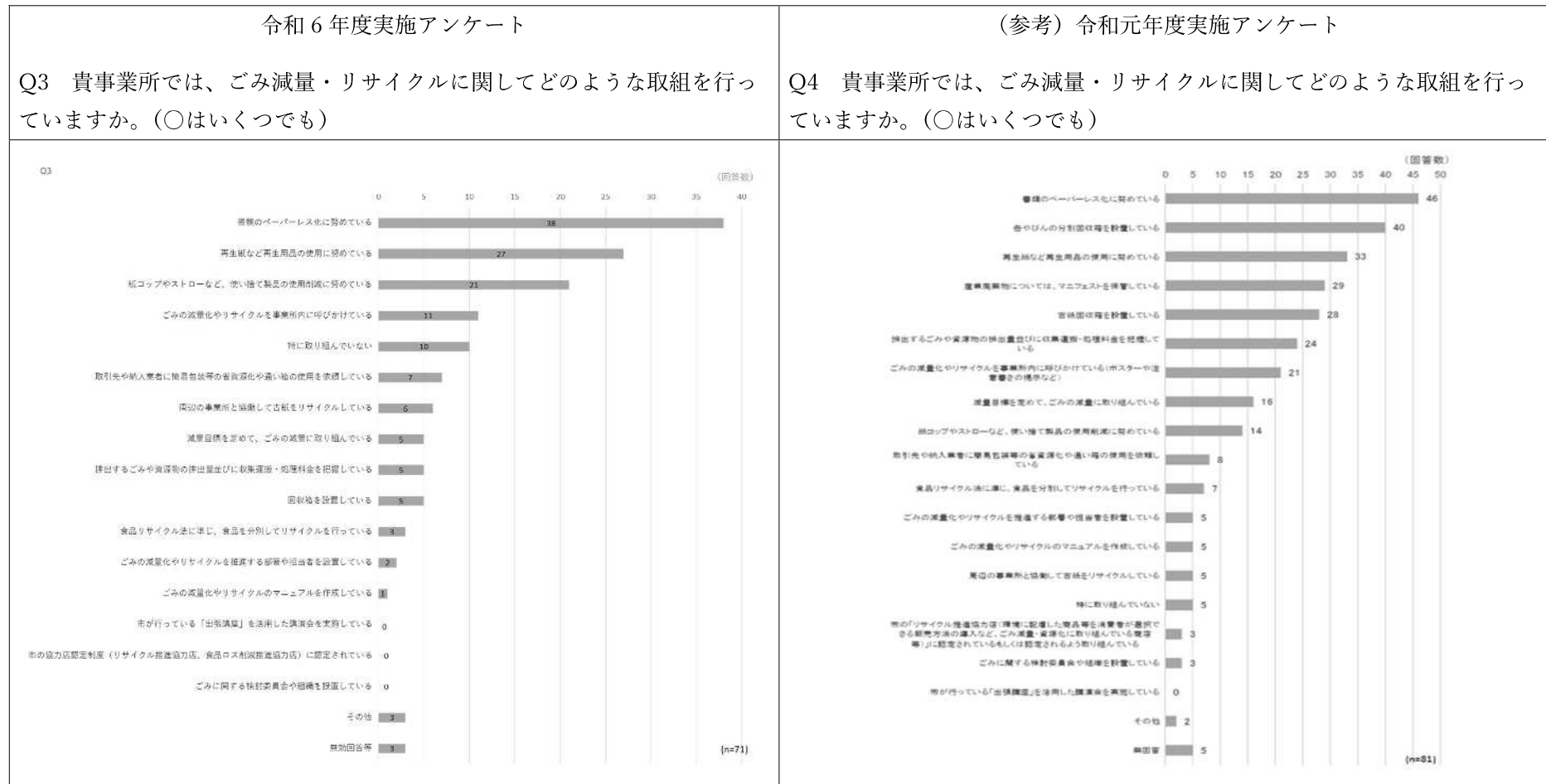
前回調査では「産業廃棄物処理業者に処理を委託している」が最も多く回答されましたが、今回の調査では回答数が大きく減少し、「一般廃棄物収集運搬業許可業者にごみとして出している」との回答が 3 件減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果



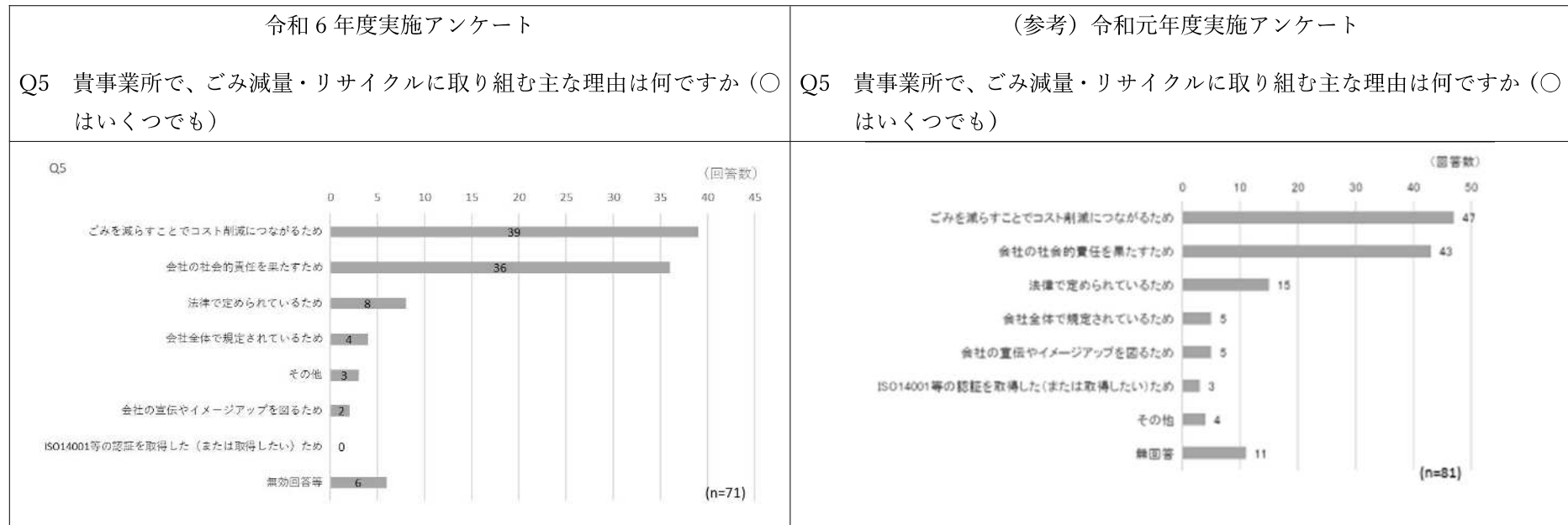
「積極的に取組を進めている」と回答した割合は前回調査から 9.1 ポイント減少しました。一方、「ある程度、取組を進めている」と回答した事業所を加えた、ごみ減量・リサイクルに取り組む事業所の割合は前回調査から 7.2 ポイント増加しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果



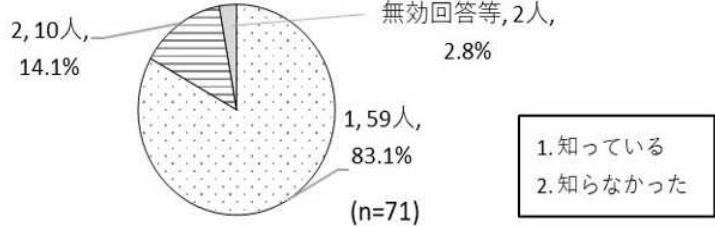
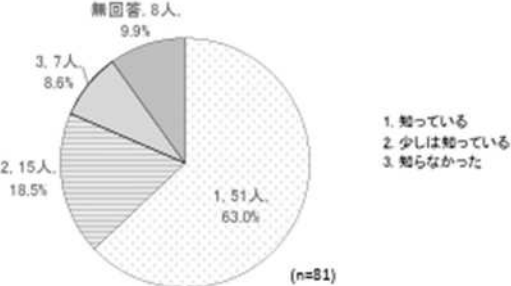
「書類のペーパーレス化に努めている」という回答が最も多く得られました。また、「紙コップやストローなど、使い捨て製品の使用削減に努めている」と回答した事業所は、前回調査から回答総数が減少した中でも、回答数が7件増加しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果



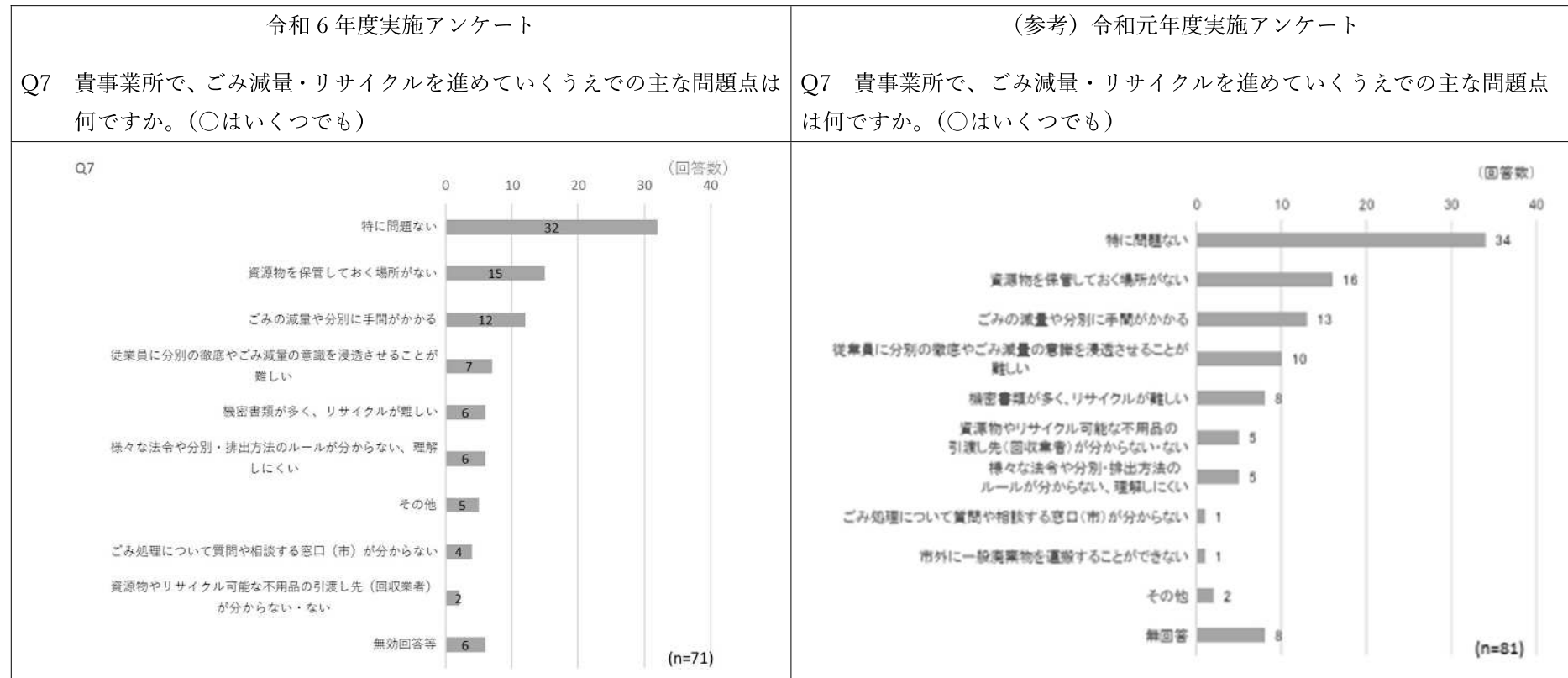
前回調査と同じく「ごみを減らすことでコスト削減につながるため」という回答が最も多く、次いで「会社の社会的責任を果たすため」という回答が得られました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果

令和 6 年度実施アンケート Q6 事業活動によって発生するごみは、事業者の責任において処理することが義務付けられています。このことについて知っていますか。(○は1つ)	(参考) 令和元年度実施アンケート Q6 事業活動によって発生するごみは事業者の責任において処理することが義務付けられています。このことについて知っていましたか。
Q6  無効回答等, 2人, 2.8% 1, 59人, 83.1% 2, 10人, 14.1% (n=71) 1. 知っている 2. 知らない	 無回答, 8人, 9.9% 3, 7人, 8.6% 2, 15人, 18.5% 1, 51人, 63.0% (n=81) 1. 知っている 2. 少しは知っている 3. 知らない

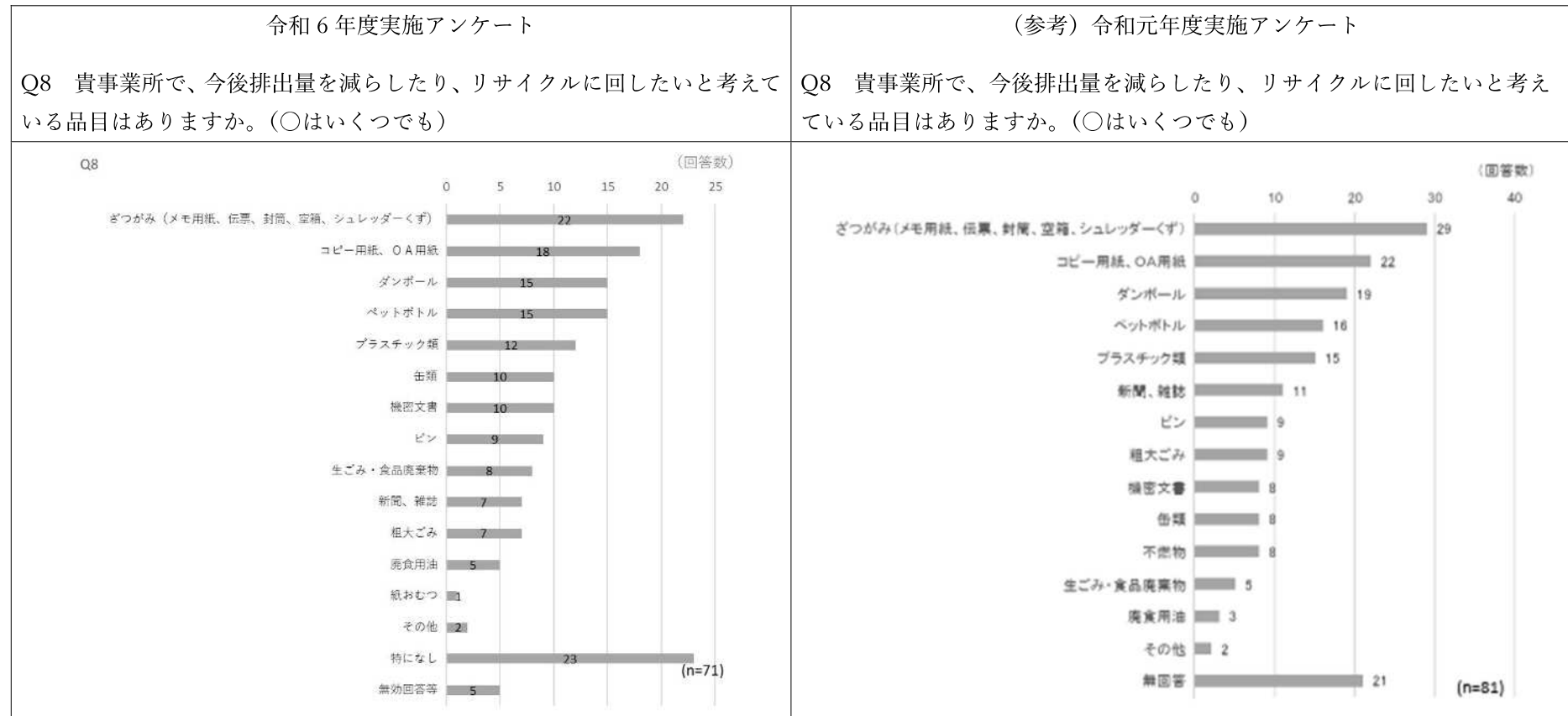
「知っている」と回答した割合が最も多く、前回調査で「知っている」「少しは知っている」と回答した割合を合計したポイント（81.5 ポイント）よりも高いポイントとなりました。一方、「知らない」と回答する事業所数も前回調査より増加しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果



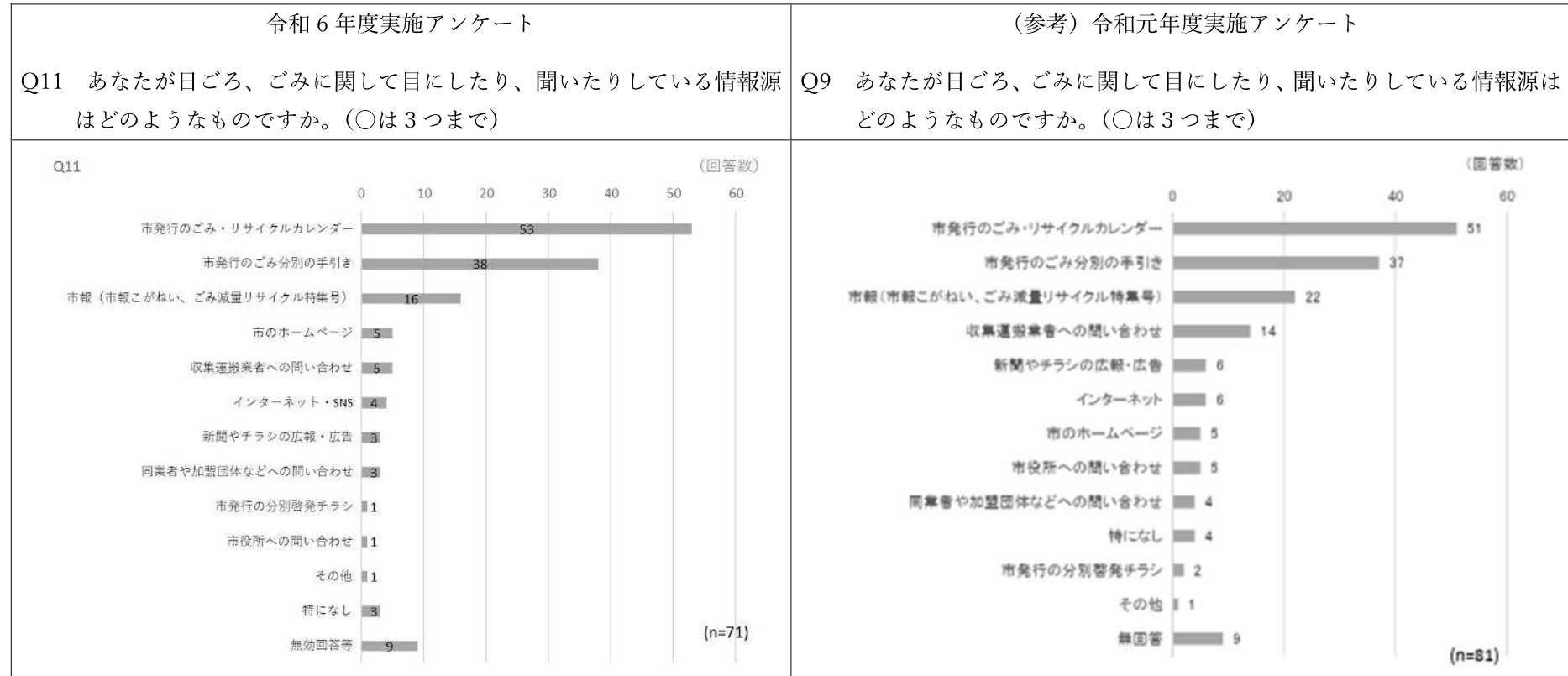
「特に問題ない」との回答が最も多く、次いで「資源物を保管しておく場所がない」「ごみの減量や分別に手間がかかる」という回答が得られました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果



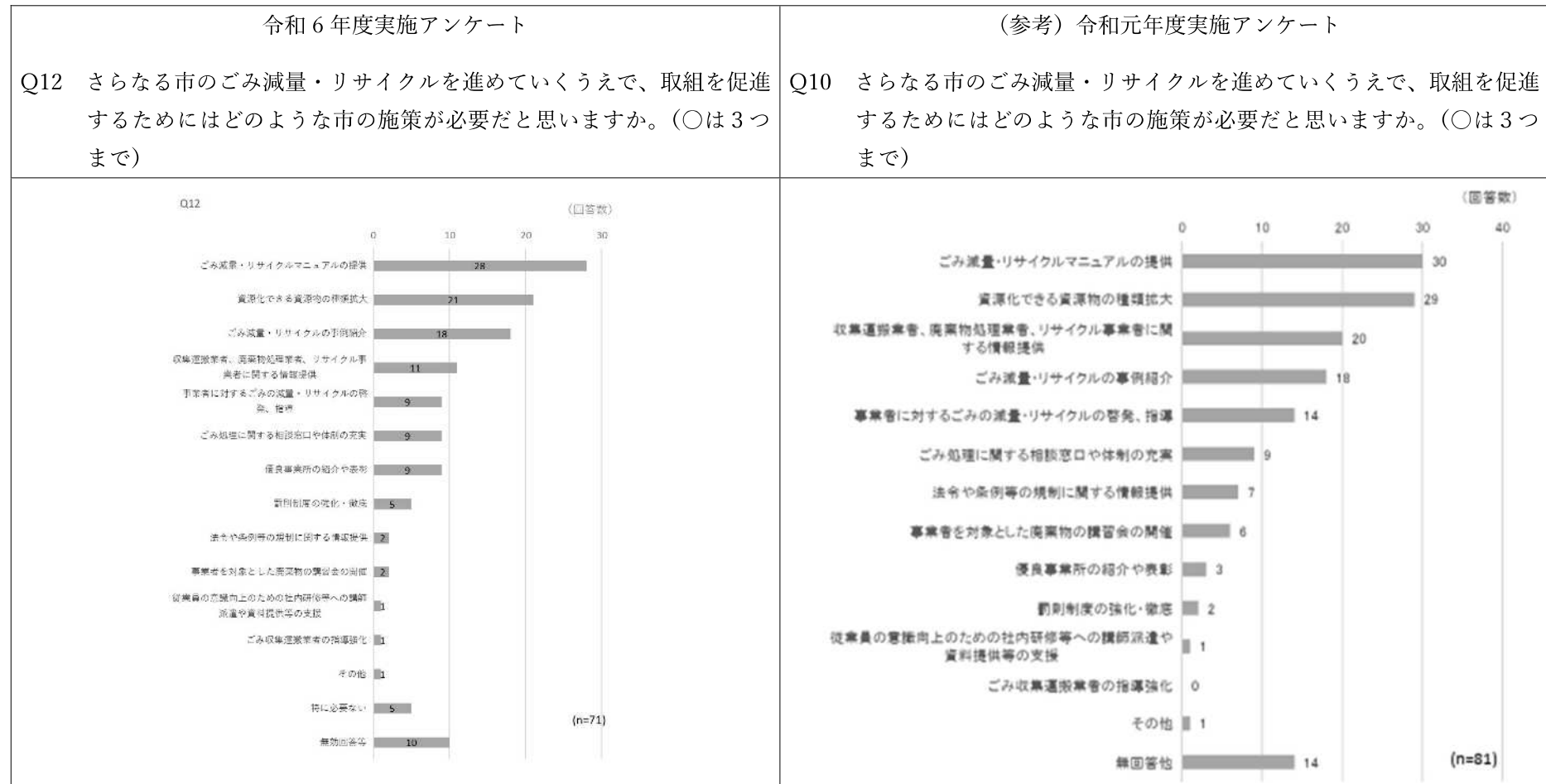
前回調査と同じく「ざつがみ」「コピー用紙、OA用紙」「ダンボール」といった古紙類が多く回答されました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果



「市発行のごみ・リサイクルカレンダー」が最も多く回答され、回答総数が減っている中でも、前回調査より多くの回答数が得られました。一方、「収集運搬業者への問い合わせ」は前回調査から 9 ポイント減少しました。

【参考資料 1-2】事業所アンケート経年比較結果



「ごみ減量・リサイクルマニュアルの提供」「資源化できる資源物の種類拡大」に対する要望が多く得られました。また、「優良事業所の紹介や表彰」「罰則制度の強化・徹底」については、前回調査から回答数が増加しました。

小金井市食品ロス削減推進計画

(案)

令和8年3月

小金井市

目 次

第1章 計画策定の概要	1
第1節 計画策定の背景と目的	1
第2節 計画の位置づけと対象期間	2
第2章 食品ロスの現状と課題	3
第1節 国及び東京都の食品ロスの現状	3
第2節 小金井市の現状と課題	6
第3章 計画の理念(もしくはスローガン)・目標	13
第1節 計画の理念(もしくはスローガン)	13
第2節 食品ロス削減に係る目標	13
第4章 目標達成のための推進施策	13
第1節 食品ロス削減のための施策	13
第2節 求められる役割と行動	13
第5章 計画の推進体制及び進行管理	13

第1章 計画策定の概要

第1節 計画策定の背景と目的

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品のことをいいます。食品ロスは、生産から消費にわたるサプライチェーンの各段階で発生するものであり、国際的な問題となっています。

2015年9月の国連サミットでは、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において食品ロスに関して言及されており、「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料廃棄の半減」が目標設定されています。さらに、国連環境計画（UNEP）の「食品廃棄指標報告2024」では、食品ロスの問題は、気候変動や生物多様性の喪失、汚染を深刻化させる要因となっていることを強調しており、単なる「もったいない」ということだけではなく、社会のさまざまなシステムに波及する課題であるといえます。

日本における食品ロスの問題については、2000年に「循環型社会形成推進基本法」及び「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」が制定され、食品ロス削減を推進しているところ、SDGsの国際目標の達成に向け、2019年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が制定されています。事業系食品ロス及び家庭系食品ロスそれぞれで、2030年度までに2000年度比で半減目標を設定し、国、地方自治体、国民、事業者などの各主体が食品ロス削減に取り組むこととされており、各主体による取り組みが推進されているところです。なお、事業系食品ロスの削減目標（2030年度までに半減）については、2022年度に達成したことを踏まえ、2030年度までに2000年度比で60%削減とする目標が新たに設定されています。

小金井市（以下、「本市」という。）においては、国が掲げる2030年度の食品ロス量削減の目標達成に貢献すべく、家庭用、事業用、大型生ごみ減量化処理機購入補助制度、生ごみのたい肥化事業を継続的に実施しているほか、食品ロス削減マッチングサービス「小金井カメすけ」の普及拡大等、本市の特性に応じた、市民や事業者の皆様とコミュニケーションをとりながら、食品ロスの削減に努めているところです。

今後は、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し、連携をとりながら、一層の食品ロスの削減に取り組むことを目的として、この度、小金井市食品ロス削減推進計画（以下、「本計画」という）を策定します。

第2節 計画の位置づけと対象期間

1. 計画の位置付け

本計画は、「食品ロスの削減の推進に関する法律」及び「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」（以下、「食品ロス削減推進基本方針」という。）に基づき策定し、食品ロスの削減に向けた本市の目標や方針等を定めるものです。

また、本計画を、区の廃棄物処理やごみ減量に関する施策の方向性を示した「小金井市一般廃棄物処理基本計画」（以下、（ごみ処理基本計画）という。）と整合性を図るとともに、上位計画である「小金井市基本構想・基本計画」や「小金井市環境基本計画」等の各種計画と調和が保たれたものとし



図 1 本計画の位置づけ

2. 計画の期間

本計画は、ごみ処理基本計画と整合を図り、令和8年（2026年）度から令和12年（2030年）度までの5年間を計画期間とします。なお、計画期間中であっても社会情勢の大きな変化、法制度の改正など計画の前提となる諸条件に大きな変動があった場合などは、必要に応じて本計画の見直しを行うものとします。

R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度	R8 (2026) 年度	R9 (2027) 年度	R10 (2028) 年度	R11 (2029) 年度	R12 (2030) 年度
計画策定に向けた審議							目標年度
			本計画（R8～R12）				

図 2 計画期間

第2章 食品ロスの現状と課題

第1節 国及び東京都の食品ロスの現状

1. 国の現状

日本の食品ロスは令和4年度推計値で472万トン（うち家庭系約236万トン、事業系約236万トン）であり、令和3年度の523万トンから51万トン減少しているという状況となります。食品ロスの量は、推計を開始した2012年度よりほぼ右肩下がりで減少傾向を示しています。



出典：農林水産省 HP (<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/240621.html>)、
環境省 HP (<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/240621.html>)

図 3 食品ロス発生量の推移

(1)第五次循環型社会形成推進基本計画(環境省)

第五次循環型社会形成推進基本計画（以下、「第五次基本計画」という。）は、循環型社会形成推進基本法に基づき、循環型社会の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定められています。第五次基本計画においては、第四次循環型社会形成推進基本計画で設定している削減目標を踏襲し、食品ロス量を2030年度までに2000年度比で半減させるという目標を設定しています。

(2)食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針(農林水産省)

食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針（以下、「食品リサイクル法に基づく基本方針」という。）は、食品リサイクル法に基づき、再生利用等の促進の基本的方向、再生利用等を実施すべき量に関する目標、再生利用等の促進のための措置に関する事項について定められています。食品リサイクル法

に基づく基本方針は、主に、食料・農業・農村政策審議会食料産業部会 食品リサイクル小委員会（農林水産省）及び中央環境審議会循環型社会部会 食品リサイクル専門委員会（環境省）が見直しの検討を行い、令和7年度に改訂版が公表されています。

改訂版においては、事業系食品ロスの削減目標（2030年度までに半減）を2022年度に達成したことを踏まえ、2030年度までに2000年度比で60%削減とする目標が新たに設定されています。新たな目標の達成には、食品関連事業者による取組の推進とともに、消費者の理解や取組が鍵であることから、国、地方公共団体、食品関連事業者、消費者等の様々な関係者が連携して、サプライチェーン全体で推進することの必要性や、食品の種類や業種等によって、食品ロス削減の余地が異なるとともに、サプライチェーンが一体となって取り組む必要があることから、サプライチェーン全体の目標とすることが示されています。

(3)食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針(消費者庁)

食品ロス削減推進基本方針では、食品ロスの削減の推進に関する法律に基づき、食品ロスの削減の推進の意義及び基本的な方向、推進の内容、その他食品ロスの削減の推進に関する重要事項を定めています。

食品ロス削減推進基本方針は、食品ロス削減推進会議（消費者庁）が見直しの検討を行い、令和7年度より第2次基本方針が定められました。食品ロス削減推進基本方針では、第五次基本計画や、食品リサイクル法に基づく基本方針で設定されている削減目標の達成を目指し、総合的に取り組みを推進するとともに、食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合を80%とすることを定めています。

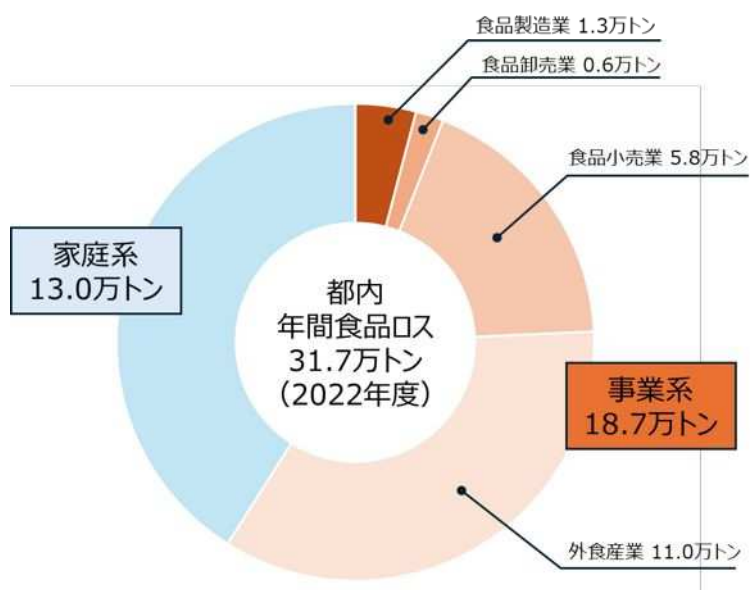
(4)第4次食育推進基本計画(厚生労働省)

第4次食育推進基本計画は、食育基本法に基づき、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、食育を通じて国民の健康と持続可能な社会を実現するための重点事項を定めています。

第4次食育推進基本計画は、食育の推進にあたっての目標の一つとして、食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やすことを掲げており、令和元年度76.5%であったものを、令和7年度までに80%以上とすることを目指すことが示されています。

2. 東京都の現状

東京都は、2021年3月に「東京都食品ロス削減推進計画」を策定し、2030年までに2000年度比で食品ロスを半減する目標を掲げています。2022年度の都内食品ロス発生量は約31.7万トンで、その内訳は事業系が約18.7万トン、家庭系が約13.0万トンとなっています。都内は、飲食店や食品製造業、卸売業、小売業などの事業活動が活発に行われているため、特に外食産業からの食品ロスが多い傾向にあり、賞味期限切れや売れ残りが主な原因とされており、東京都は、事業者との連携を強化し、食品ロス削減の取り組みを推進していくこととしています。



出典：東京都食品ロス削減パートナーシップ会議（令和7年2月7日）より作成

図 4 東京都内の年間食品ロス量（2022 年度）

第2節 小金井市の現状と課題

1. アンケート調査結果からの課題

生ごみ、食品ロスに関する市が行っている取組についての認知度は、全体的に低い傾向にあります。また、生ごみ減量化処理機器購入費補助制度の認知度は6割程度であるのに対し、生ごみ処理機を使用している人の割合は1割程度に留まっており、補助制度のあり方について検討が必要な状況です。

普段捨てていると思う「食品ロス」については、消費期限（安全に食べることができる期限）が切れてしまった食品が最も多く、未利用品、食べ残しを合わせると7割以上に及びます。市民から事業者に必要な量の販売・提供（少量パック、量り売り、小盛など）を望む割合が多いことや、賞味期限が近い商品の割引制度が望まれていること、事業者からは飲食店と連携したキャンペーンの実施を求められていることから、事業者も含めた食品ロスの削減に向けた取組が求められます。

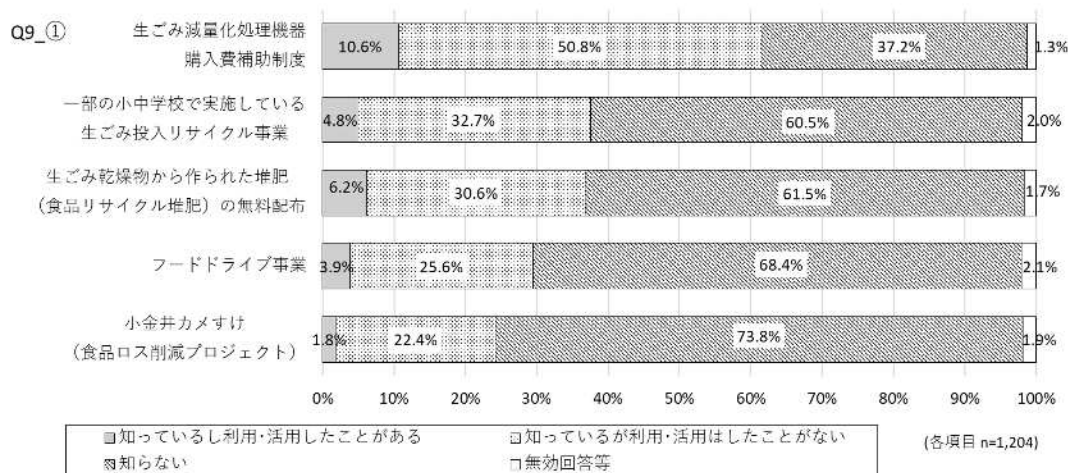


図 5 食品ロスに関する施策の認知度【市民】

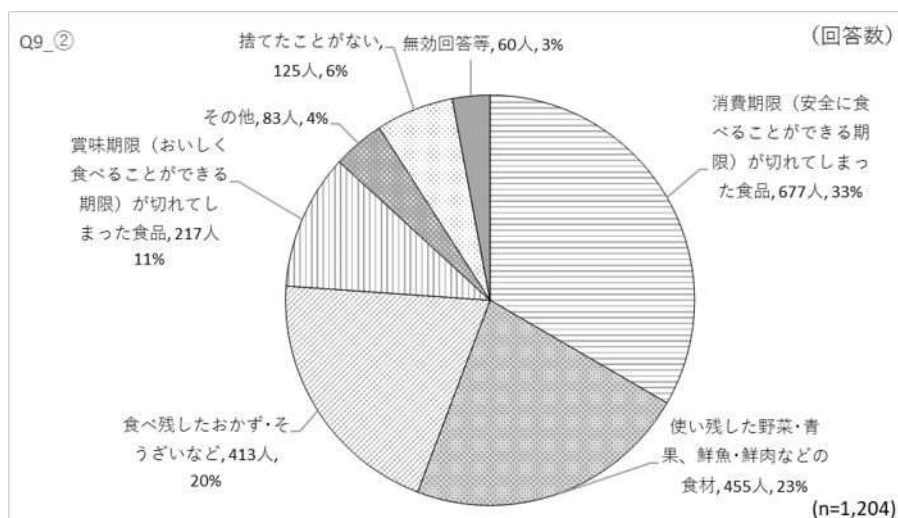


図 6 食品ロスに関する排出状況【市民】

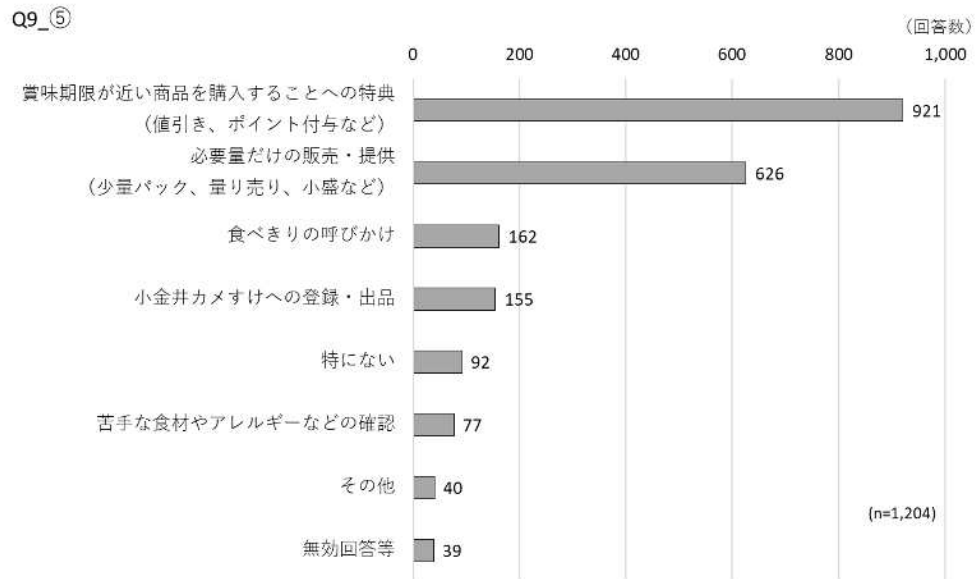


図 7 事業者に求める取組調査結果【市民】

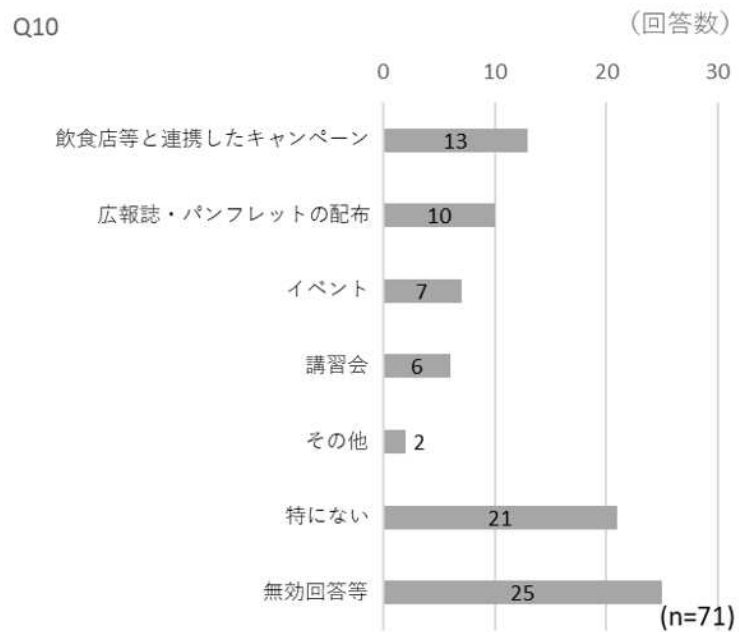


図 8 食品ロス削減のために市に実施してほしい施策【事業所】

2. ごみ組成調査からの現状と課題

(1) 家庭系燃やすごみ

家庭系燃やすごみのうち、厨芥類は41%を占める結果となりました。厨芥類の中では非可食部・調理くずが最も多く、全体の3割程度を占めています。

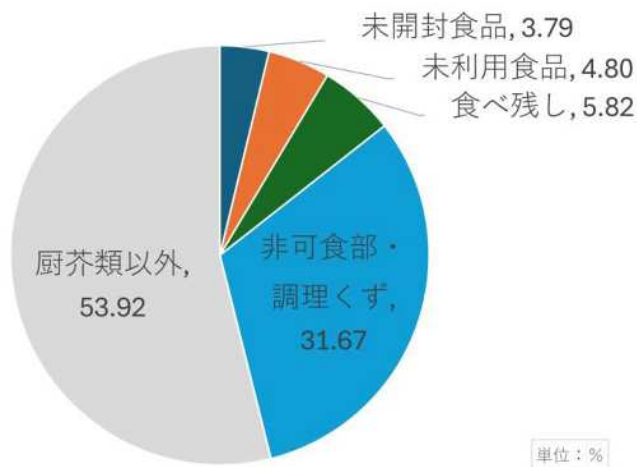


図 9 家庭系燃やすごみの調査結果（平均）¹



図 10 家庭系燃やすごみ、食品ロスの排出実態例
（左：未開封食品、右：未利用食品）

¹ ごみ組成調査はパッカー車で収集したごみを湿ベースで調査
家庭系：収集された燃やすごみが調査対象
事業系：許可業者が収集した事業系燃やすごみが調査対象
（以下燃やさないごみも同条件）

表 1 家庭系燃やすごみの調査結果

分 類 項 目		正味重量 (kg)	割合 (%)	前回割合※1 (%)
厨芥類		87.30	41.32	41.77
	未開封食品	6.56	3.19	1.57
	素材 ※2	3.12	1.40	1.43
	調理済み食品	3.06	1.55	—
	飲料 ※3	0.39	0.23	0.13
	未利用食品	7.33	3.36	5.23
	素材	2.43	1.02	1.67
	自家製農作物 ※4	0.64	0.32	0.00
	一部の素材 ※4	3.04	1.45	2.30
	調理済み食品	1.21	0.57	1.23
	丸ごと調理済み食品	—	—	—
	食べ残し	12.14	6.03	6.20
	食べ残し	11.66	5.75	6.17
	飲み残し	0.48	0.28	0.03
	非可食部・調理くず	61.27	28.74	20.37
	物理的可食（潜在可食）	22.19	10.18	6.50
	非可食（調理くず・非可食）	39.08	18.56	13.87
生ごみ処理乾燥物		0.00	0.00	0.20
分類不能		0.00	0.00	8.20
厨芥類以外		118.13	58.68	58.23

※1：小金井市一般廃棄物処理基本計画（令和2年3月）策定時の調査結果

※2：前回の項目名は丸ごとと素材

※3：前回は未利用食品に分類

※4：前回は未開封食品に分類

次に、居住形態別の結果からは、戸別住宅、ファミリー集合住宅からの厨芥類排出割合が40%～50%を超えていることが確認されました。また、単身住宅については、燃やすごみに占める厨芥類の割合は約25%程度と、他の居住形態に比べると低い割合となっているものの、未開封食品や食べ残しの割合が他の居住形態とほとんど変わらない、生活様式の異なる様々な市民に対して、無理なく生活に取り入れることができる行動に関する啓発や施策が必要となります。

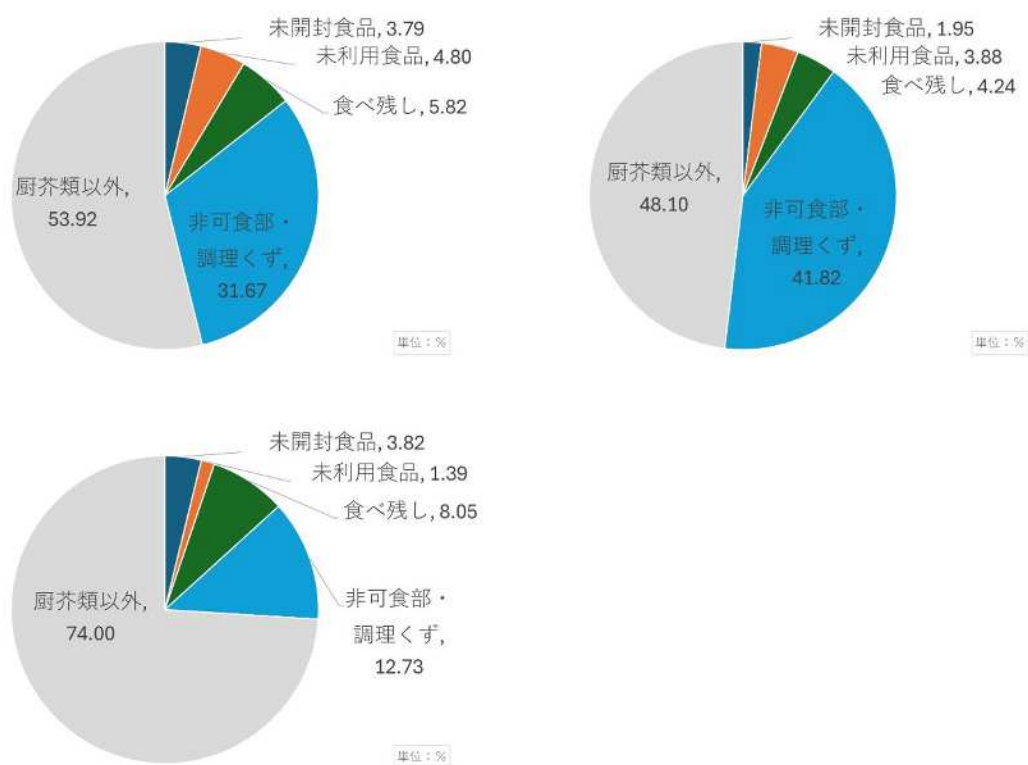


図 11 住居形態別 家庭系燃やすごみの調査結果
(左上: 戸別住宅、右上: ファミリー集合住宅、左下: 単身住宅)

(2)事業系燃やすごみ

事業系ごみのうち、厨芥類は半数を超える約53%を占める結果となりました。厨芥類のなかでは、食べ残しが最も多く、全体の約30%程度を占めています。また、家庭系同様、非可食部・調理くずも多く、全体の約15%程度を占めており、削減の余地があることが分かります。

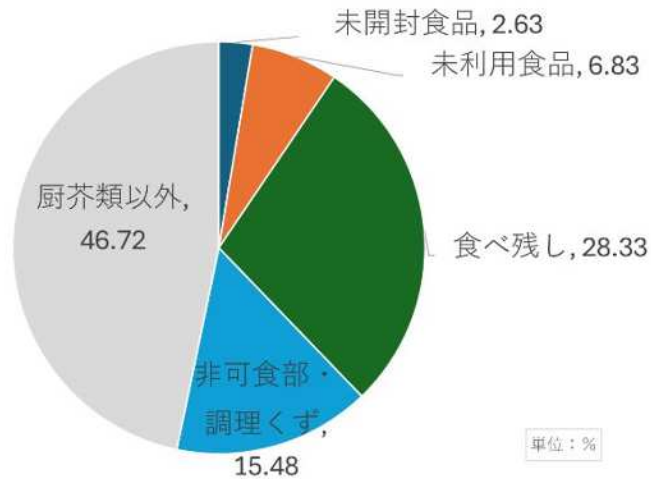


図 12 事業系ごみの調査結果 (平均)

表 2 事業系ごみの調査結果

分類項目		正味重量 (kg)	割合 (%)	前回割合※1 (%)
厨芥類	未開封食品	109.01	53.28	59.50
	未開封食品	5.39	2.63	0.60
	素材 ※2	1.02	0.50	0.60
	調理済み食品	4.37	2.14	—
	飲料 ※3	0.00	0.00	0.00
	未利用食品	13.98	6.83	3.90
	未利用食品	5.32	2.60	0.00
	自家製農作物 ※4	0.00	0.00	0.00
	一部の素材 ※4	8.29	4.05	3.90
	調理済み食品	0.37	0.18	0.00
	丸ごと調理済み食品	—	—	0.00
	食べ残し	57.97	28.33	2.60
	食べ残し	57.97	28.33	2.60
	飲み残し	0.00	0.00	0.00
	非可食部・調理くず	31.67	15.48	39.50
	物理的可食 (潜在可食)	28.07	13.72	14.20
	非可食 (調理くず・非可食)	3.60	1.76	25.30
厨芥類以外	生ごみ処理乾燥物	0.00	0.00	0.00
	分類不能	0.00	0.00	12.90
	厨芥類以外	95.60	46.72	40.50

※1：小金井市一般廃棄物処理基本計画（令和2年3月）策定時の調査結果

※2：前回の項目名は丸ごと素材

※3：前回は未利用食品に分類

※4：前回は未開封食品に分類

3. 課題を踏まえた方針

(1)発生抑制を第一に掲げた家庭系食品ロスの削減推進

市民アンケート調査や組成調査から、多くの食品が、食べられることなく捨てられていることが明らかになっています。特に、実際には期限切れや、使い残しの生鮮食品を排出しているというアンケートの回答が多く、日々の買い物や保存の工夫によって未然に防ぐことができる食品ロスが一定程度存在していることがうかがえます。

こうした傾向を踏まえ、市民一人ひとりが無理なく実践できる「必要な分だけ買う」「使い切る」習慣づくりを後押しする情報提供や環境整備が、今後の発生抑制に向けた鍵となります。適量購入を促す広報や、保存方法・食材活用の工夫を共有する取り組みなど、日常生活に寄り添った支援を進めていくことが重要です。

(2)事業者との協働による食品ロス削減に向けた取組推進

食品ロス削減に向けては、市民・行政だけでなく、流通・小売・飲食等の事業者との連携も欠かせません。市民アンケートでは、賞味期限が近い商品の値引き販売や、少量・小分け商品の充実など、購入段階での選択肢の拡充を求める声が多く寄せられました。一方で、事業者からは、店頭でのPOP掲示や啓発活動への協力の意向も示されており、連携の素地は一定程度整っているといえます。

こうした状況を踏まえ、今後は、事業者が無理なく取り組みやすい仕組みづくりや、取組の見える化、広報支援などを通じて、地域全体での食品ロス削減の機運を高めていくことが重要です。

(3)食品ロス削減に向けた取り組みを行っていただくための啓発・情報提供

本市では、食品ロス削減に向けたさまざまな施策や情報提供を行っているものの、市民アンケートの結果からは、それらの施策について「知っているが利用・活用したことはない」との回答も多く見られ、認知から行動につながっていない現状が一部で確認されました。

今後は、生活に無理なく取り入れられるような仕組みづくりや行動を後押しするしくみの工夫とあわせて、より身近な形での情報発信・啓発を展開していくことが重要です。

第3章 計画の理念(もしくはスローガン)・目標

第1節 計画の理念(もしくはスローガン)

なくそう“もったいない” ふやそう“えがお”
みんなで減らそう食品ロス

第2節 食品ロス削減に係る目標

第4章 目標達成のための推進施策

第1節 食品ロス削減のための施策

第2節 求められる役割と行動

第5章 計画の推進体制及び進行管理

ワークショップについて

資料3-1

	大人向け	子ども向け
目的	参加者が自ら考え、想像し、最終的な結果をグループで振り返ることで、当事者意識を醸成し、新たな気付きを得るきっかけづくりの場とすることを旨とする。今後の市の廃棄物処理施策への理解を深める。	①家庭へ情報を持ち帰ってもらい、家族全員への普及啓発につなげる ②体験し、自分で感じて気づきを得てもらうことで、効果を高める
WS テーマ (案)	(仮称)ごみ処理マネジメント会議 #シミュレーション形式での参加型ゲーム	1. ごみの分別ゲーム 2. 分解ワークショップ
WS テーマ 内容	◎流れ テーマ:(仮称)ごみ処理マネジメント会議 - ー導入説明 - ーグループワーク - ー発表/振り返り <概要> プレイヤーが仮想のまちの運営委員会になり、「どのようなごみ処理体制にするか」を話し合っ決定。組み合わせた行動(施策)によって、「ごみ処理経費」、「環境負荷」、「市民満足度」のスコアが変動します。限られた予算内で理想の「まちの方針」を組み立てるものです。 ★ねらい ・主体的・体験的なシミュレーションを通じて、市民がごみについて「自分事」として考えるきっかけを作る。 ・グループワークを通して、市民同士の交流やコミュニティ形成に役立てる。 ・大人、特に次世代を担う「学生・若者」の参加率向上 ・廃棄物処理行政の多面性と、今後の廃棄物処理施策への理解を深める。 ・多くの市民の意向が反映された計画づくりに繋げる。	◎流れ ワークショップ1:ごみ分別ゲーム - ー導入説明 - ーグループワーク - ー発表/振り返り ワークショップ2:ごみ収集・運搬ゲーム - ー導入説明 - ーグループワーク - ー発表振り返り ★ねらい ・家庭にあるごみの“出所”と“行先”に気づき、削減行動の意識を持つ。 ・ごみの分別ルールを知り、日常生活で「どのごみはどう処理されるのか」に興味を持つ。 ・ごみが出されたあとどうなるのか、収集・運搬の大変さをする。 ・発表を通じて「家でも話そう」モードを醸成。
備考	・勝ち負けはなく、「どの価値を重視したのか」が重要です。 ・行動カードで設定している費用や効果は架空のものであること、当日は念押しします。(現実の施策Aは費用対効果が低い、という議論になることを避けるため。) ・設定には組み込めない要素(施設の整備/維持管理費用、施策の実現可能性等)を事務局から補足することで、意識向上を図ります。	・子ども向けグッズを市にて手配予定 ・子ども向けに振り返りでは、「友達と一緒に頑張る」とか、「知らない友達に教えてあげよう」というようなニュアンスを重視。

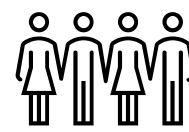
■ 目的

参加者が自ら考え、想像し、最終的な結果をグループで振り返ることで、当事者意識を醸成し、新たな気付きを得るきっかけづくりの場とすることを旨とするとともに、今後の市の廃棄物処理施策への理解を深める。

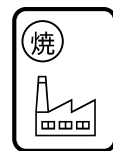
■ タイトル : (仮称)ごみ処理マネジメント会議

- 概要 : プレイヤーが仮想のまちの運営委員会になり、「どのようなごみ処理体制にするか」を話し合って決定。組み合わせた行動(施策)によって、「ごみ処理経費」、「環境負荷」、「市民満足度」のスコアが変動します。限られた予算内で 理想の“まちの方針”を組み立てるものです。

大人向けWS概要

 プレイヤー

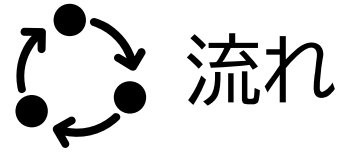
- 1グループ3人～5人(参加人数により調整)
- 各グループが、1つの「仮想のまち」のごみ処理行政を担当します



ゲームの構成要素(カード種別例)

種別	内容	効果の例
処理方式カード	一般ごみ処理／資源化／外部委託	処理単価が異なる
行動カード	市民啓発／分別品目増加／回収頻度変更／など	コスト・環境・満足度に影響
イベントカード	大雨でごみ増加／処理施設トラブルなど	強制的な状況変化(ランダム)

大人向けWSながれ



- ◆ ラウンド1 : 導入
- ◆ ラウンド2 : 初期方針の決定(スコア集計)
- ◆ ラウンド3 : イベント発生
- ◆ ラウンド4 : 方針修正(スコア再集計)
- ◆ ラウンド5 : 振り返り

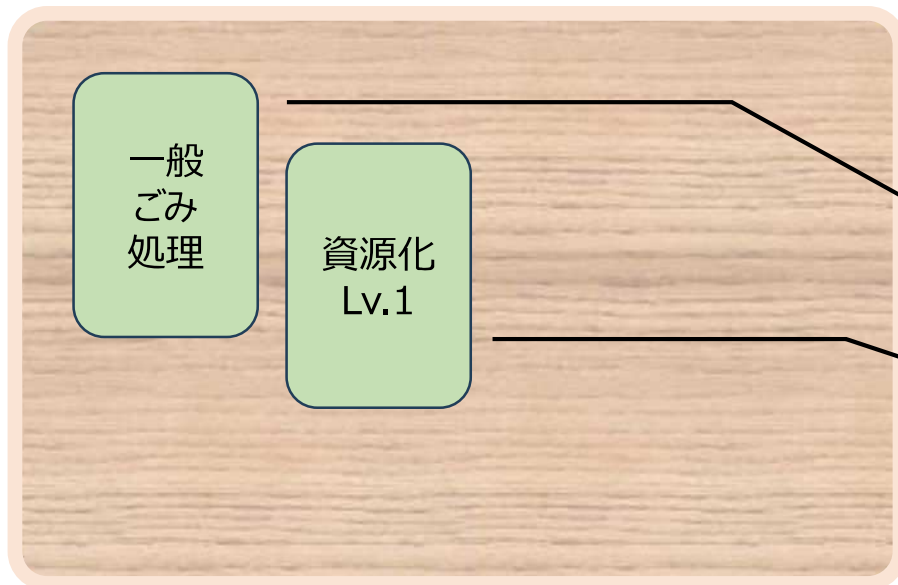
遊び方

◆ ラウンド1:導入

まちの状態を把握しましょう

- 最初に机に並んでいるカードは、処理カードの「一般ごみ処理」と「外部資源化Lv.1」です。

▼机の上に並んでいるカードのイメージ



<一般事項>

■ 人口	10万人
■ ごみ排出量	30,000トン
(うち一般ごみ)	20,000トン
(うち資源ごみ)	10,000トン
■ 分別率	33%
■ 予算	15億円

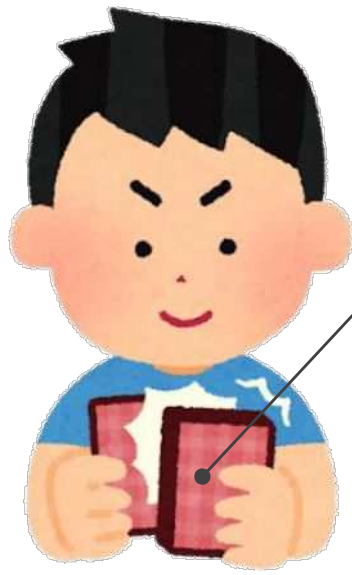
<処理費用> 8億円

■ 一般ごみ処理費用	$20,000\text{トン} \times 20\text{円/kg} = 4\text{億円}$
■ 資源ごみLv.1処理費用	$10,000\text{トン} \times 40\text{円/kg} = 4\text{億円}$

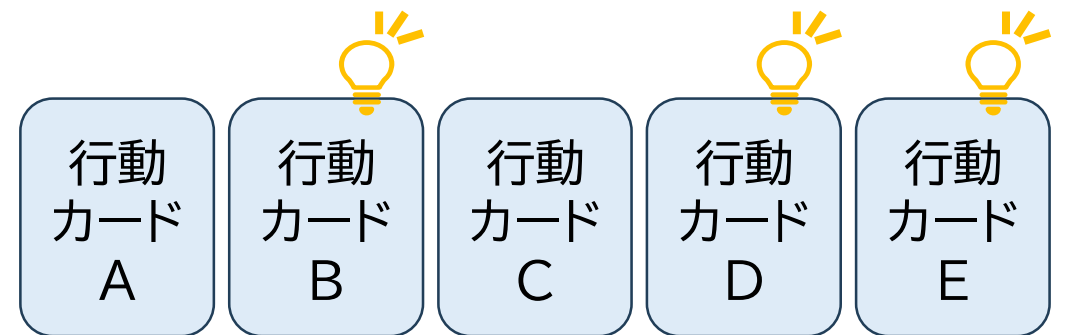
遊び方

◆ ラウンド2: 初期方針の決定

山札から行動カードを5枚引きます。
どんなまちにしたいかをグループで
話し合い、理想のまちにするための
行動カードを3枚
選んでください。



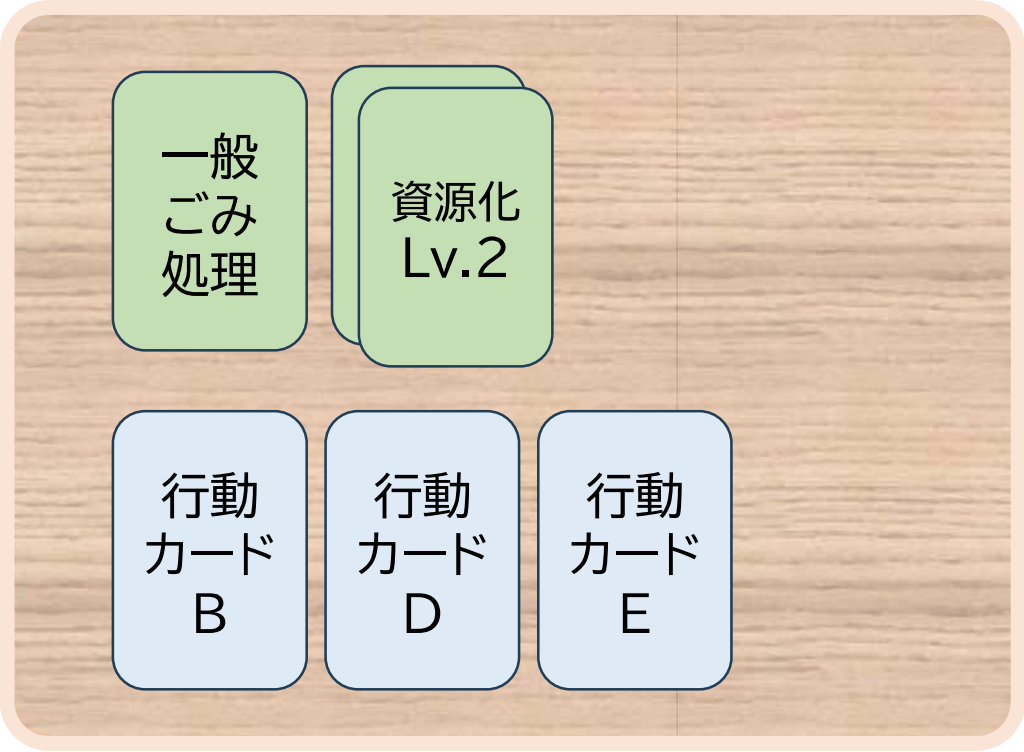
- 行動カードには、費用、環境負荷、住民満足を変動させる効果があります。
- どのようなまちにしていきたいかをグループで話し合い、行動カードを選びましょう。
- (例)今回はB、D、Eを選択！



遊び方

- ◆ ラウンド2:スコア集計
選んだ行動によって、環境負荷スコア、市民満足スコア、
分別率に変動が生じます。どんなまちになったか見てみましょう。

▼机の上に並んでいるカードのイメージ



※行動結果の計算は、事務局にて行います。

▼行動の結果イメージ

	行動前	行動後
予算	15億円	
（予算残）	7億円	3.3億円
処理費用	8億円	7.5億円
行動費用		4.2億円
排出ごみ量	30,000トン	27,200トン
（うち一般ごみ）	20,000トン	15,800トン
（うち資源ごみ）	10,000トン	11,400トン
分別率	33%	38%
環境負荷スコア	5	12
市民満足スコア	5	-2

いちど
やってみましょう！



遊び方

◆ ラウンド3:

手札が5枚になるよう、山札から行動カードを引きましょう。

ラウンド2と同じことをもう一度行い、どのようなまちになるのかを確認しましょう。

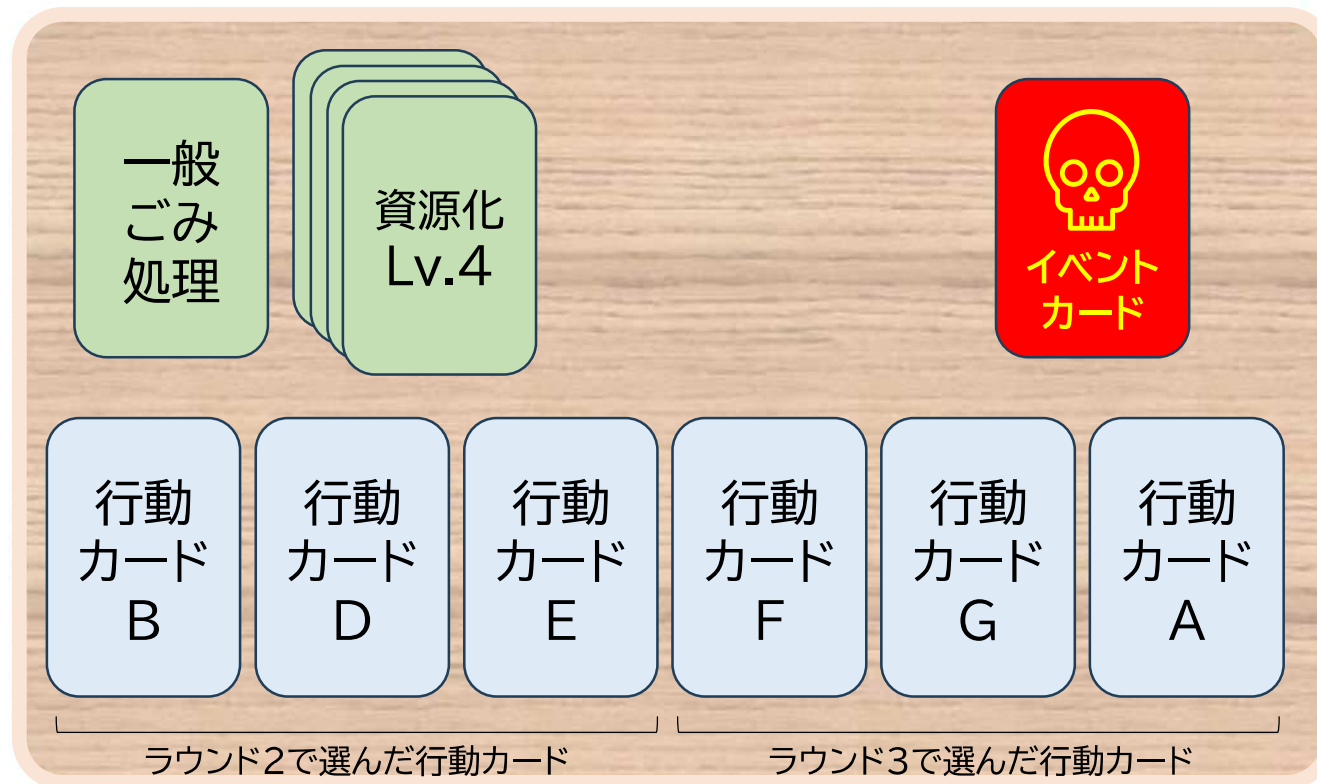
- ラウンドが変わると予算も変わります…予算増減カードを引いてください。
- 同じ行動カードを選ぶことはできません。
- 予算残がマイナスになった場合、最後に選んだ行動カードの効果は発揮されず破棄されます。
※予算残がマイナスでなくなるまで、破棄され続けます。

遊び方

◆ ラウンド4: イベントカードを1枚引いてください。

イベントカードの効果を確認し、まちの状態を確認しましょう。

▼机の上に並んでいるカードのイメージ



- イベントは、強制的に発生し、いいこともあります、悪いこともあります…！
- 行動カードには、悪いイベントを防ぐ効果をもつものもあるので、ラウンド3までにグループでよく話し合って、行動する内容を決めてください。

遊び方

◆ ラウンド4: イベントカードの結果も考慮しつつ、最終ラウンドでの行動を決めましょう。行動カードは補充されますが、最後に選べる行動カードは2枚です。

◆ ラウンド5: (振り返り)

最終ラウンドの行動カードの結果を踏まえ、最終的なまちの状態を確認しましょう。

どのような行動を選択し、その結果がどのような状態をつくっているのか、みなさんで振り返ってください。

遊び方

◆ ラウンド5:最終ラウンドの行動カードの結果を踏まえ、最終的なまちの状態を確認しましょう。

どのような行動を選択し、その結果がどのような状態をつくっているのか、みなさんで振り返ってください。

<審議会用補足説明>

- # 自分のグループの結果がどのようなものかを話し合うとともに、結果をグループごとに発表し、どのように考え、どのような結果になったのかを共有します。
- # 行政判断の多面性(経費・手間・行動変容の限界)が「自分ごと」として話題に上がり、意識づけすることを狙います。
- # 勝ち負けはなく、「どの価値を重視したのか」が重要です。
- # 行動カードで設定している費用や効果は架空のものであること、当日は念押しします。
(現実の施策Aは費用対効果が低い、という議論になることを避けるため。)
- # 設定には組み込めない要素(施設の整備/維持管理費用、施策の実現可能性等)を事務局から補足することで、意識向上を図ります。

子ども向けWS内容

■ 目的

- ①家庭へ情報を持ち帰ってもらい、家族全員への普及啓発につなげる
- ②体験し、自分で感じて気づきを得てもらうことで、効果を高める

■ WS1 :ごみ分別ゲーム

- 概要 :模擬ごみ(カード)を6種類の分別BOXに分類し、グループ毎に正確性を競います。

■ WS2 :ごみ収集・運搬ゲーム

- 概要 :各グループがごみ収集員になり、正確に、素早くごみ収集ができるかを競い合います。

- 備考 :導入にて、小金井市の概要(排出量、資源化の状況など)をインプット、簡単なクイズなどを行ったうえで、クイズに移行。

ワークショップ① ごみ分別ゲーム



ごみ分別ゲーム | 目的

- ごみの種類と出し方を学ぶ
- チームで相談して協力する

ごみ分別ゲーム | 使うもの

- ごみカード:いろいろなごみが書かれています
- 分別ボックス:6種類+迷った箱

ごみ分別ゲーム | 分類の種類

- ① 燃やすごみ
- ② 燃やさないごみ
- ③ プラスチックごみ
- ④ 古紙・布
- ⑤ 缶・びん・ペット
- ⑥ 有害ごみ
- ⑦ わからない箱

ごみ分別ゲーム | 得点ルール

- 正解: +1点
- 間違い: -1点
- わからない箱: ± 0 点

ごみ分別ゲーム | 進め方

- 1. チームにごみカードを配ります
- 2. 時間内にすべて分類！
- 3. ファシリテーターが採点・解説
- 4. 点数発表・ふりかえり

ごみ分別ゲーム | 振り返り

- どのカードが難しかった？
- 家ではどんなごみを出してる？
- 今日からできる分別チャレンジは？
- 「こうしたらもっと良くなる」と思ったことはありますか？

ワークショップ② ごみ収集・運搬ゲーム



ごみ収集運搬ゲーム | 目的

- 家庭や事業所にあるごみを集めて、正しい処理施設に運ぼう
- 分別の正しさ、移動ルートを工夫し、チームワークで高得点を目指そう
- 遊びながら、分別や収集・運搬について学ぼう

ごみ収集運搬ゲーム | 使うもの

- ごみカード(分別ゲームで使ったものをそのまま使います。)
- 模擬収集車
- 収集マップ＆スコアシート(各班用)＋筆記用具

ごみ収集運搬ゲーム | 得点ルール

- 全4ターン制(ターン=週のイメージ)で合計得点を競う
- 正しい処理施設に搬入できたら、1枚あたり5ポイント追加！
- 1マス移動するごとに、1ポイントを消費します。
- 1ターンにつき、ごみ収集車には最大5枚までカードを積むことができます
(いろんな種類のごみを一緒に収集してOKです。)

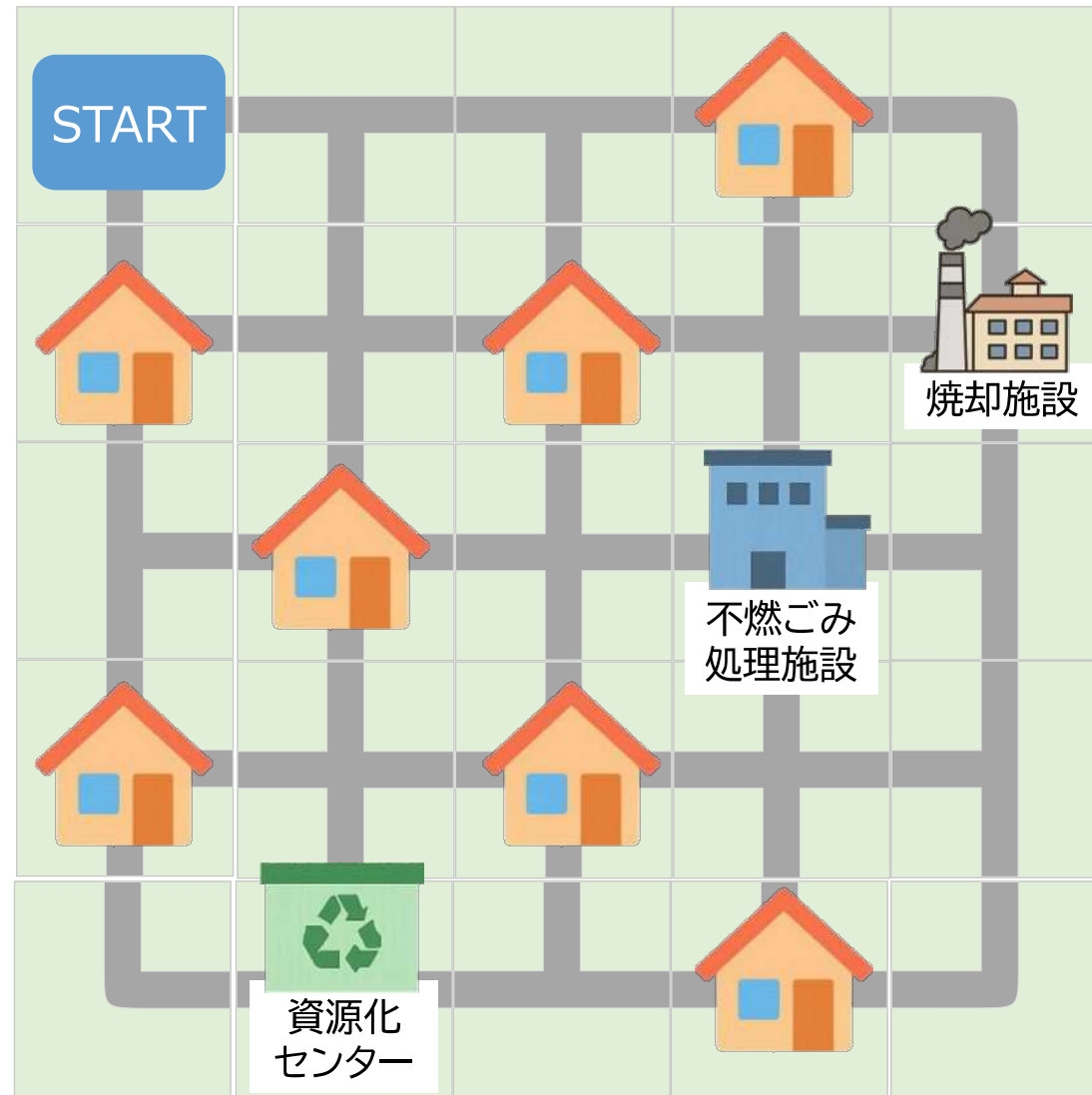
ごみ収集運搬ゲーム | 進め方

- 1. ごみカードをシャッフルし、マップ上の家に配置しましょう
- 2. 各ターンで話し合い、どこに行って、何を集め、どこに運ぶか決定！
- 3. マップ上で移動 → 収集 → 搬入 → 得点計算
- 4. 点数発表・ふりかえり

ごみ収集運搬ゲーム | 振り返り

- どんなルートで集めた？ なぜその方法を選んだ？
- うまく分別できた？ 間違いがあった？
- 移動とごみの種類のバランスはどうだった？
- 実際のまちの収集って、どんな工夫があるかな？

ごみ収集運搬ゲーム | 収集マップ(例)



質問者	該当箇所	質問・意見内容	回答
一般廃棄物処理基本計画（骨子案）			
橋爪委員	P39「4. 国の動向・人口動態からの課題」	家庭の独立化、一人暮らし（独居）、通信での販売、宅配便の増加など、個人によるごみの増加は？	いただいたご意見については、以下の通り反映できる部分はしておりますが、不足事項があれば、それを踏まえて今後、施策の検討を進めてまいります。 ・家庭の独立化→核家族の増加によるごみ量増加を懸念されていると推測しますが、小金井市では単身世帯や2人世帯の割合だけが顕著に増加している結果にはなっていない状況です。 ・一人暮らし（独居）→4. (2)にて、少子高齢化の進行による課題（ごみ質変化、排出困難な市民の増加等）について記載しています。 ・通信での販売、宅配便の増加→段ボール増加を懸念されていると推測しますが、ごみ量の実績値より、ダンボールの排出量はコロナ禍で一時的に増加しましたが、ピークを迎えた令和3年度以降は減少傾向です。今後、ごみ排出量実績の部分の更新をする際に、実績値を踏まえ必要に応じて段ボールについて追記を検討します。
小金井市食品ロス削減推進基本計画（案）			
橋爪委員	全体を通して	市民からのスローガンの募集は？ 食品ロスの削減が、「自分ごと」になるようにしたい（事例集他）。	行政計画は政策目標や具体的な施策等の複雑な内容が多く、これを短いキャッチコピーで表現するには、内容を正確に伝えつつ、簡潔で分かりやすくする必要がありますことに加え、公募という手段を取るに当たっては選定基準やプロセスを明確にし、公平性・透明性を確保することが重要となります。これらの要件を整えるには期間が短すぎるため、次期計画策定での採用の可否を判断できるよう、調査・研究させていただきます。
	目次、P2図2	目次のタイトル（項目）は簡便に（章と節での文字の重複、読み易く）。P2図2のR5～R8は、「計画に向けての準備、試行、検討など」では？（審議が長すぎる）。	前段について、章や節のタイトルについては、読みやすさを重視し、簡略化するようにいたします。後段について、いただいたご意見を参考に、表現を再考します。
ワークショップについて			
橋爪委員	全体を通して	過去の実施分の評価と反省は？その後の計画に活かしたことは？ 「ごみゼロ（SDGs）フェア（仮称、展示、講演、見学など）の開催の一環としては？	現行計画策定時に実施した「分解WS」については、家庭への情報持ち帰りや、家族全員への普及啓発をねらい、現在も継続して実施しているところです。